公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム アニュアルレポート

ANNUAL REPORT

KFAW

平成26(2014)年度 年報

（公財）アジア女性交流・研究フォーラムの主な事業

第 25 回アジア女性会議ー北九州（山口絵理子氏講演）

仁川広域市との交流事業

行政官のためのジェンダー主流化政策 2014

KFAW 領事館シリーズ「オーストラリアの人材育成」

KFAW スタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」

第 25 回 KFAW 研究報告会

北九州市立男女共同参画センター・ムーブの主な事業

夫婦で考えるハッピー仕事×子育て術

学生活動プロジェクト（ガーベラプロジェクト）

北九州市立東部勤労婦人センター（レディスもじ）の主な事業

男性セミナー「男性のための料理あれこれ教室」

子育て支援講座「ベビー・マッサージ」

北九州市立西部勤労婦人センター（レディスやはた）の主な事業

開館３７周年記念講演会（香山リカ氏）

国際交流事業「狂言ー棒しばり」

目　次

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの概要
設立趣意書 …… 2
目的 …… 3
事業内容 …… 3
組織 …… 3
職員数 …… 4
役員等 …… 4
運営 …… 5

平成 26（2014）年度実施事業
公益目的事業Ⅰ
調査・研究事業 …… 8
交流・研修事業 …… 13
情報収集・発信事業 …… 18
国際研修事業 …… 19
公益目的事業Ⅱ
指定管理事業 …… 22
男女共同参画センター管理運営業務 …… 22
勤労婦人センター管理運営業務 …… 27
【レディスもじ】 …… 27
【レディスやはた】 …… 31
勤労婦人センター管理業務 …… 34
自主事業 …… 34
男女共同参画センター自主事業 …… 34
勤労婦人センター自主事業 …… 34
指定管理施設利用状況 …… 35
収益事業等
その他事業Ⅰ：北九州市大手町ビル維持管理事業 …… 40
その他事業Ⅱ：北九州市立男女共同参画施設の公益目的外の貸与事業 …… 40
法人事業 …… 42

財務諸表
貸借対照表内訳表 …… 44
正味財産増減計算書内訳表 …… 45
財務諸表に対する注記 …… 46

資料
公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み …… 50
刊行物一覧 …… 57
海外とのネットワーク …… 62
施設案内 …… 63

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの概要

設立趣意書

今日、国際社会においては、地球的規模で、世界の平和と人類の福祉向上の実現に向けての努力が重ねられています。

女性の地位向上の面においても、一国の全面的な発展及び世界の福祉・平和のためには、女性が男性と共に、社会のあらゆる分野に参画することが必要であることが認識され、1975 年の「国際婦人年」を契機に、続く「国連婦人の十年」において「平等・開発・平和」を目標として世界的な規模での活動が活発に展開されてきました。しかし、実質的な女性の地位向上には、まだ多くの問題が残されており、国連婦人の十年以後もその精神を引き継ぎ、ナイロビ世界会議で採択された西暦 2000 年に向けての「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」に沿って、世界各地で目標達成のための努力が続けられています。

女性問題は、女性が単に女性であるということから生じるさまざまな不利益、不平等の問題であり、基本的人権、人間の尊厳にかかわる問題であります。その意味において、女性問題は女性だけの問題ではなく、男性を含む社会全体の、世界的に共通な問題であるといえます。このような観点から、現在、女性の視点が反映されることの少なかった従来の社会のありかたの再構築の必要性が認識され、男女共同参画による社会づくりが強く求められています。特に、開発途上国においては、国の開発の推進と開発における女性の参画が重要な問題となっています。

このような女性問題に対する認識と国際婦人年以来のさまざまな活動をふまえ、北九州市のふるさと創生事業を契機にアジア女性交流・研究フォーラムは事業を開始しました。以来、女性の地位向上とアジア地域の連帯・発展の核として機能することを目指して、日本及び他のアジア地域の女性問題に関する調査・研究及び情報の収集・提供、あるいは開発途上国の人材養成のための研修ならびに相互理解を促進するための国際交流などの活動を行ってきました。

国際社会が相互依存の関係を強め、日本の国際的役割がいっそう重要になるなかで、わたしたちは、アジア女性交流・研究フォーラムの事業の使命と意義を更に深く認識し、安定的な財政基盤の確保と、これまでの活動の一層の充実を図り、日本における女性問題の所在をより明確にするとともに、アジアの女性の地位向上に更に寄与することを念願し、ひいては、国際婦人年以降の目標である「平等・開発・平和」を達成するため、財団法人アジア女性交流・研究フォーラムを設立いたします。（1993 年起草）

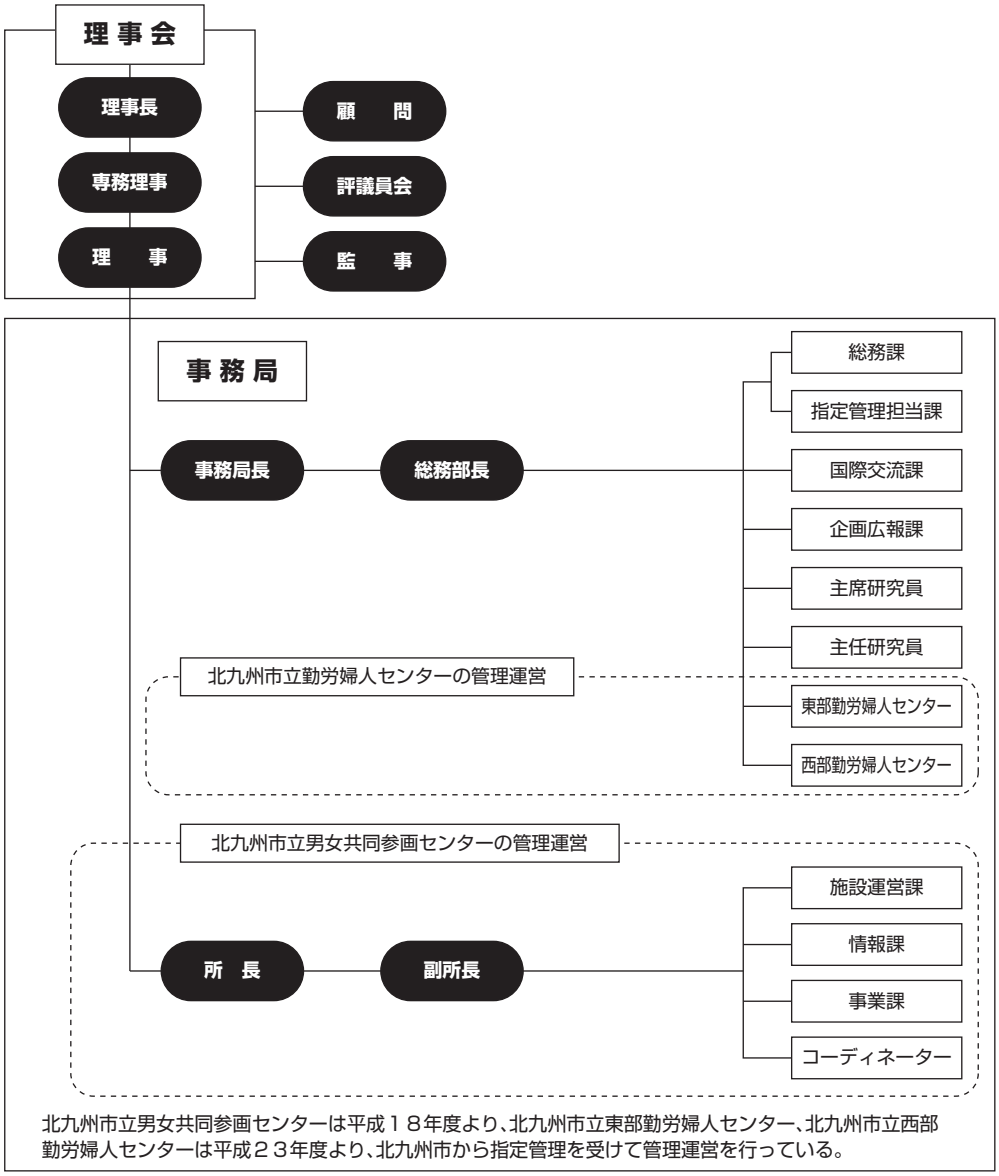
目　的

日本及び他のアジア諸国のジェンダー（社会的性別）問題に関する調査研究及び国際交流等を行うとともに、男女共同参画社会の形成の推進に関する取り組みを支援することにより、女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図り、もって、日本及び他のアジア地域相互の発展に寄与することを目的とする。

事業内容

(1)　ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての調査・研究
(2)　ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての国際交流・研修
(3)　ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての情報収集・発信
(4)　北九州市立男女共同参画センター及び北九州市立勤労婦人センター（東部・西部）の管理・運営
(5)　その他、本財団の目的を達成するために必要な事業

組　織



職員数

平成 27 年 3 月 31 日現在

区分		所長	事務局長	部長級	課長級	職員	計
市派遣職員				2	4		6
	うちムーブ職員※1			1	2		3
	うちレディス職員※2						
市 OB			(1)※5	1			1
	うちムーブ職員※1						
	うちレディス職員※2						
嘱託職員					4	29	33
	うちムーブ職員※1				2	15	17
	うちレディス職員※2				2	7	9
その他（役員との兼務）		1※3		1※4			2

※ 1　北九州市立男女共同参画センター・ムーブの管理運営に従事する職員
※ 2　北九州市立勤労婦人センター（レディスもじ、レディスやはた）の運営に従事する職員
※ 3　所長は専務理事が兼務する。
※ 4　部長級である主席研究員は理事長が兼務する。
※ 5　事務局長は総務部長が兼務するため、（　）表記により、計には含まない。

役員等（五十音順）

平成 26 年度名簿

理事長

堀内　光子　　公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム理事長

専務理事

西本　祥子　　公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム専務理事

理事

小川　健一郎　　公益財団法人北九州 YMCA 理事長
北野　久美　　北九州市保育士会会長
窪田　由紀　　名古屋大学教授
田村　慶子　　北九州市立大学教授
湯淺　墾道　　情報セキュリティ大学院大学教授、北九州市男女共同参画審議会副会長

監事

西妻　安治　　株式会社福岡銀行常務取締役北九州本部長
鈴木　雅子　　北九州市会計室長

顧問

小川　洋	福岡県知事
北橋　健治	北九州市長
原　ひろ子	財団法人アジア女性交流・研究フォーラム元会長

評議員

加藤　美佐子	北九州市婦人会連絡協議会会長
近藤　倫明	北九州市立大学学長
戴　二彪	公益財団法人アジア成長研究所研究部長
冨安　兆子	高齢社会をよくする北九州女性の会代表
羽田野　隆士	北九州商工会議所専務理事
原田　美紀	弁護士
平田　トシ子	前　北九州市男女共同参画審議会会長
藤岡　佐規子	北九州市保育士会名誉会長
藤原　通孝	北九州市副市長
松村　佐和子	北九州市女性団体連絡会議会長
三隅　佳子	国連ウィメン日本協会北九州会長

運　営

1　理事会

⑴　第 1 回理事会（みなし決議）

決議があったとみなされた日　　平成 26 年 5 月 9 日（金）

議　　案　　平成 26 年度臨時評議員会（書面決議）の開催について

議事結果　　議案可決

⑵　第 2 回理事会

開 催 日　　平成 26 年 6 月 5 日（木）10：30 ～ 12：05

場　　所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ　5 階小セミナールーム

出席者数　　8 名

議　　案　　平成 25 年度事業報告及び決算について

　　平成 26 年度定時評議員会の招集及び議案について

議事結果　　全議案可決

⑶　第３回理事会

開 催 日　　平成 27 年 3 月 10 日（火）14：00 ～ 15：00

場　　所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ　5 階小セミナールーム

出席者数　　6 名

議　　案　　公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム就業規則及び公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム職員給与規程の一部改正の専決処分の報告について

平成 26 年度日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際交流等を通じて女性の地位向上を図る事業会計の補正予算について

平成 27 年度事業計画及び収支予算について

議事結果　　全議案可決

２　評議員会

⑴　臨時評議員会（みなし決議）

決議があったとみなされた日　　平成 26 年 5 月 28 日（水）

議　　案　　評議員の選任について（藤原通孝氏を評議員とする）

評議員の選任について（戴二彪氏を評議員とする）

議事結果　　全議案可決

⑵　定時評議員会

開 催 日　　平成 26 年 6 月 20 日（金）14：00 ～ 15：05

場　　所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ　5 階小セミナールーム

出席者数　　12 名

議　　案　　平成 25 年度決算について

議事結果　　議案可決

平成 26（2014）年度実施事業
公益目的事業Ⅰ

日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際交流等を通じて女性の地位向上を図る事業

【概況】

平成2年10月に設立、平成5年10月に労働省（現厚生労働省）の認可を受け財団法人となり、平成25年4月1日に公益財団法人に移行したアジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）は、国際婦人年以降の目標である「平等・開発・平和」の達成のため、これまで様々な活動を展開してきた。

平成26年度は、当財団で初めて国連会議の誘致を行い、12月3日から5日までの3日間「国連ジェンダー統計専門家会合」を北九州市立男女共同参画センター・ムーブで実施した。その専門家会合を踏まえ、「第25回アジア女性会議－北九州」を開催した。

また、北九州市と姉妹都市である韓国・仁川広域市両市の女性団体の交流を促進するため、北九州市の女性団体が仁川広域市を訪問し、ジェンダー関連組織・施設への訪問やセミナーへの参加などを行うとともに、海外通信員を招へいし、ワールドリポートの開催や交流事業を実施した。

さらに、「女子学生のためのキャリア形成」をテーマとした出前講座プログラムを作成し、市内大学5校において講義を実施したほか、国際協力とジェンダーをテーマとしたスタディツアーを実施した。

1　調査・研究事業

調査・研究事業では、研究員研究、KFAW客員研究員による調査研究、KFAWアジア研究者ネットワーク活動を行い、調査研究活動を充実させるとともに、プログラム開発やセミナーなどの開催による研究成果の発信を行った。実施した調査研究結果や外部の専門家による研究成果を広く共有・発信し、ネットワーク化を図り、実践的なプログラム開発に生かし、男女共同参画社会づくりに貢献した。

⑴　研究員研究

KFAW研究員により、「公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム実施計画」および「第3次北九州市男女共同参画基本計画」を踏まえ、次のとおり研究を行っている。

ア　主任研究員研究

㈠　研究テーマ

「地域社会における女性団体の活動と男女共同参画社会の推進について」

㈡　研究の概要

女性団体は、福祉・環境・経済・教育などさまざまな活動を行い、まちづくりを支えている。女性団体が今後の活動の参考とすることができるように、市内外、あるいはアジア諸国の女性団体の組織や活動について、これまでの歴史、現在の活動の実態を調査し、その役割や課題、今後の展望などを分析。

イ　研究誌の刊行

研究誌『アジア女性研究』、『KFAW 調査研究報告書』を刊行した。

・『アジア女性研究』第 24 号　500 部

・『KFAW 調査研究報告書』Vol.2014-1「夫婦間の性別役割分業はなぜ変わらないのか～既婚女性へのインタビュー調査から探る」 100 部

・『KFAW 調査研究報告書』Vol.2014-2 「グローバリゼーションに対する認識と英語力～日本人女性と韓国人女性との比較～」 100 部

『アジア女性研究』第 24 号

『KFAW 調査研究報告書』Vol.2014-1、2014-2

ウ　研究報告会の開催

第 25 回 KFAW 研究報告会を開催した。

・日時　　平成 27 年 2 月 7 日（土）13：30 ～ 15：30

・場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

・報告内容、報告者

㈠「夫婦間の性別役割分業はなぜ変わらないのか～既婚女性へのインタビュー調査から探る」

武蔵野大学非常勤講師　笹川あゆみ（H25/H26 KFAW 客員研究員）

大妻女子大学比較文化学部非常勤講師　北原零未（共同研究者）

㈡「グローバリゼーションに対する認識と英語力～日本人女性と韓国人女性との比較～」

東京経済大学現代法学部准教授　カレイラ松崎順子（H25/H26 KFAW 客員研究員）

・参加者　28 名

⑵　客員研究員研究

KFAW の研究部門の研究をさらに強化するため、客員研究員への委託による調査研究を実施した。2 組の客員研究員（H25/H26 客員研究員）が前年度からの研究を継続し、平成 27 年 2 月、KFAW 研究報告会で研究の成果を発表するとともに、2 年間の研究をまとめた調査研究報告書を作成した。また、あらたに H26/H27 年度の客員研究員を 2 組選出して研究を委託し、平成 27 年 2 月に中間報告会を実施した。

ア　H25/H26 年度 KFAW 客員研究員と研究テーマ

㈠「グローバリゼーションに対する認識と英語力～日本人女性と韓国人女性との比較～」
東京経済大学現代法学部准教授　カレイラ松崎順子

㈡「夫婦間の性別役割分業はなぜ変わらないのか～既婚女性へのインタビュー調査から探る」
武蔵野大学非常勤講師　笹川あゆみ
大妻女子大学比較文化学部非常勤講師　北原零未（共同研究者）
東京女子大学博士後期課程　池松玲子（共同研究者）
一般社団法人社会デザイン研究所特別研究員　小関孝子（共同研究者）

イ　H26/H27 年度 KFAW 客員研究員と研究テーマ

㈠「台湾・マレーシアにおける女性に対する暴力被害者支援の研究」
広島大学ハラスメント相談室准教授　北仲千里
神奈川大学法学部教授　井上匡子（共同研究者）
室蘭工業大学大学院工学研究科准教授　清末愛砂（共同研究者）
立命館大学法心理・司法臨床センター専任研究員　金成恩（共同研究者）
関西福祉科学大学健康福祉学部講師　松村歌子（共同研究者）
北海道大学大学院法学研究科助教　李妍淑（共同研究者）

㈡「滞日ネパール人女性にとっての社会的包摂とは：セイフティネットの活用に関する研究」
福岡県立大学人間社会学部准教授　佐野麻由子
上智大学総合グローバル学部准教授　田中雅子（共同研究者）
ポウラキネパール（Pourakhi Nepal）代表　マンジュ・グルン（共同研究者）

⑶　KFAW アジア研究者ネットワーク活動

ア　アジア研究者によるセミナーの開催

北九州市および近郊に在住するさまざまな分野の研究者や実務者が、アジア地域を中心とする活動の成果を共有するため、ジェンダーの視点から議論するセミナーなどを開催するとともに、KFAW 研究者のネットワークの拡大、充実を図った。

㈠　平成 26 年度第 1 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー（第 58 回国連女性の地位委員会（CSW58）帰国報告会）

①　テーマ　「CSW58 帰国報告」
「自然災害におけるジェンダーと女性のエンパワーメント」

②　日時　平成 26 年 4 月 11 日（金）18：30 ～ 20：00

③　場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

④　講師　織田由紀子
（北九州サスティナビリティ研究所研究員）
二宮正人（北九州市立大学法学部教授）

⑤　参加者　42 名

平成 26 年度第 1 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

(イ) 平成 26 年度第 2 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

① テーマ 「ネパールの失われた女性たち」

② 日時 平成 26 年 7 月 25 日（金）18：30 ～ 20：00

③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

④ 講師 佐野麻由子（福岡県立大学人間社会学部准教授）

⑤ 参加者 43 名

平成 26 年度第 2 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

イ 女子学生のキャリア形成のためのプログラム開発

「女子学生のためのキャリア形成」をテーマとして開発した出前講座プログラムの利用拡大を図るため、市内の大学および専門学校にプログラム概要版を配布するとともに、導入を検討する学校を対象とした説明会を開催した。その結果、平成 26 年度は市内大学 5 校において、プログラムを活用した授業を実施した。

(ア) キャリア形成プログラム説明会の開催

① 日時 平成 26 年 5 月 29 日（木）15：00 ～ 16：30

② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③ 講師 湯淺墾道（KFAW 特別研究員）

④ 参加校 折尾愛真短期大学、九州国際大学、西南女学院大学、製菓・医療 九州ビジネス専門学校

⑤ 内容 プログラムのコンセプトや講義内容の説明および学校側との意見交換を実施

(イ) 第 1 回授業

① 日時 平成 26 年 6 月 2 日（月）14：40 ～ 16：10

② 場所 西南女学院大学

③ 講師 湯淺墾道（KFAW 特別研究員）

④ 参加者 200 名

第 1 回授業（西南女学院大学）

(ウ) 第 2 回授業

① 日時 平成 26 年 6 月 6 日（金）14：40 ～ 16：10

② 場所 西南女学院大学

③ 講師 大島まな（KFAW 特別研究員）

④ 参加者 173 名

(エ) 第 3 回授業

① 日時 平成 26 年 6 月 23 日（月）10：45 ～ 12：15

② 場所 九州共立大学

③ 講師 大島まな（KFAW 特別研究員）

④ 参加者 171 名

(オ) 第 4 回授業

① 日時　平成 26 年 6 月 24 日（火）14：50 ～ 16：20

② 場所　九州共立大学

③ 講師　大島まな（KFAW 特別研究員）

④ 参加者　228 名

(カ) 第 5 回授業

① 日時　平成 26 年 7 月 3 日（木）9：00 ～ 10：30

② 場所　西日本工業大学

③ 講師　西本祥子（KFAW 専務理事）

④ 参加者　37 名

(キ) 第 6 回授業

① 日時　平成 26 年 9 月 22 日（月）16：35 ～ 18：05

② 場所　九州女子大学

③ 講師　松本幸一（KFAW 特別研究員）

④ 参加者　167 名

第 6 回授業（九州女子大学）

(ク) 第 7 回授業

① 日時　平成 26 年 12 月 12 日（金）13：00 ～ 14：30

② 場所　九州国際大学

③ 講師　湯淺墾道（KFAW 特別研究員）

④ 参加者　117 名

(ケ) 第 8 回授業

① 日時　平成 26 年 12 月 12 日（金）14：40 ～ 16：10

② 場所　九州国際大学

③ 講師　湯淺墾道（KFAW 特別研究員）

④ 参加者　140 名

ウ　デート DV 予防教育ファシリテーター・フォローアップ研修

一般市民向けの DV 防止講演会と、デート DV 予防教育のファシリテーターおよびデート DV 予防教育に参加する意思のある人を対象とした研修を実施した。

(ア) 第一部　DV 防止講演会

① テーマ「DV 被害者支援の現場から～ DV 被害母子の現状～」

② 日時　平成 26 年 8 月 10 日（日）10：00 ～ 12：00

③ 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

④ 講師　竹之下雅代（ウィメンズカウンセリング京都フェミニストカウンセラー）

⑤ 参加者　52 名

DV 防止講演会

(イ) 第二部　ファシリテーター・フォローアップ講座

① テーマ 「デート DV 防止活動の課題」

② 日時　平成 26 年 8 月 10 日（日）13：00 ～ 16：30

③ 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

④ 講師　中田慶子（DV 防止ながさき代表）

⑤ 参加者　25 名

2　交流・研修事業

平成 26 年度は、当財団で初めて国連会議の誘致を行い、12 月 3 日から 5 日までの 3 日間「国連ジェンダー統計専門家会合」を北九州市立男女共同参画センター・ムーブで実施した。その専門家会合を踏まえ、「女性の働き方としての起業」と題し、「第 25 回アジア女性会議－北九州」を開催し、国連ジェンダー統計専門家会合参加者も参加し、より国際色豊かな女性会議となった。

(1) 「アジア女性会議－北九州」等の国際セミナーの開催

ア　アジア女性会議－北九州

基調講演として、国連の大崎敬子氏より女性の起業を統計的に把握するための国際的な取り組みについて、㈱マザーハウスの山口絵理子氏よりバングラデシュの自社工場で生産したバッグなどを国内外で販売する女性起業家としてのストーリーを紹介した。続くパネルディスカッションでは、世界的に女性活躍が進んでいるフィリピンの女性起業家の現状を紹介するとともに、インドネシアの女性起業家を育てる NPO 活動や、日本や北九州市の起業に関する支援や取り組みに関する報告などを交えながら国際シンポジウムを実施した。

(ア) 「国連ジェンダー統計専門家会合」の開催

ニューヨーク国連本部経済社会局統計部に協力し、下記のとおりジェンダー統計専門家会合を開催した。

① 日時　平成 26 年 12 月 3 日（水）～ 5 日（金）

② 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③ 参加者　36 名

・国連本部経済社会局統計部　3 名
（副部長大崎氏ほか 2 名）

・国連ウィメン　1 名

・国家統計専門官　22 名

・国連地域委員会やパートナーエージェンシー
（世界銀行、その他国連諸機関ほか）など 10 名

国連ジェンダー統計専門家会合

④ 参加国　14 カ国

中国、フィジー、グルジア、ガーナ、モルディブ、メキシコ、モンゴル、フィリピン、韓国、南アフリカ、スワジランド、ウガンダ、米国、スイス

(イ) 国際シンポジウム『第 25 回アジア女性会議―北九州』の開催

① 日時　平成 26 年 12 月 6 日（土）13：30 ～ 16：00
日英同時通訳

② 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③ 参加者　110 名

④ 基調講演
大崎敬子（国連本部経済社会局統計部副部長）
山口絵理子
(株)マザーハウス代表取締役兼チーフデザイナー）

パネルディスカッションの様子

⑤ パネルディスカッション
＜パネリスト＞
山口絵理子（(株)マザーハウス代表取締役兼チーフデザイナー）
リナ・カストロ（フィリピン国家統計局副局長）
グロリア・アリーニ
（シンガポール・NPO 法人ヌサンタラ開発イニシアティブ共同設立者・理事）
吉村英俊（北九州市立大学都市政策研究所教授）
＜コーディネーター＞
堀内光子（KFAW 理事長）

⑥ 報告書の発行
会議の詳細を『第 25 回アジア女性会議―北九州　報告書』として発行した。

イ　国際理解促進事業

男女共同参画社会の実現に向け、女性の地位向上を図るには、あらゆる立場の人びとと相互理解を深めることが必要不可欠である。今年度は、国際理解セミナー「KFAW 領事館シリーズ」を継続して実施し、在福岡オーストラリア総領事館および在福岡アメリカ領事館の領事が男女共同参画事情を分かりやすく解説するセミナーを開催したほか、海外通信員経験者を北九州市に招へいし、ワールドリポートや市内学生との交流事業を実施した。

また、日本政府が進めている国連安全保障理事会決議 1325 号等の履行における行動計画策定作業の一環として、九州・山口地区を対象とした「女性・平和・安全保障に関する行動計画」に関する市民意見交換会を、外務省との共催で実施した。

(ア) 国際理解セミナー「KFAW 領事館シリーズ 4　オーストラリアの人材育成」

① 日時　平成 26 年 9 月 10 日（水）14：00 ～ 15：00

② 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③ 講師　トム・イェイツ
（在福岡オーストラリア総領事館総領事）

④ 参加者　49 名

KFAW 領事館シリーズ 4

(イ) 国際理解セミナー「KFAW 領事館シリーズ 5　DV や人身売買に対するアメリカの地球規模の取り組み」

① 日時　平成 27 年 3 月 11 日（水）15：00 ～ 16：30
② 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
③ 講師　ダニエル・キャラハン
（在福岡アメリカ領事館政治・経済担当領事）
④ 参加者　45 名

KFAW 領事館シリーズ 5

(ウ) 海外通信員招へい事業

① 期間　平成 27 年 1 月 22 日（木）～ 25 日（日）
② 招へい者　アメリア・ロー（第 24 期 KFAW 海外通信員（香港））
スワプナ・マジュムダール（第 22 期 KFAW 海外通信員（インド））
マリスナ・ユリアンティ（第 24 期 KFAW 海外通信員（インドネシア））
サボール・アーメッド（第 23 期 KFAW 海外通信員（パキスタン））

(a) 市内小学校での国際交流プログラム

小倉中央小学校が実施している小学 4 年生の「国際理解教育」の一環として、海外通信員 4 名による各国の文化や教育事情の紹介、小学生による日本の文化の紹介等の国際交流プログラムを実施した。

(1) 日時　平成 27 年 1 月 23 日（金）
(2) 場所　小倉中央小学校
(3) 参加者　小倉中央小学校 4 年生 70 名

小学校訪問の様子

(b) 市内大学生との共同企画による国際交流プログラム

国際協力に関する次世代人材育成の一環として、市内大学生との共同企画による国際交流プログラムを実施。大学生 8 名が市内の文化施設等を英語で紹介しながら海外通信員との交流を行った。

(1) 日時　平成 27 年 1 月 23 日（金）14：00 ～ 17：30
(2) 場所　北九州市内（八幡、門司、小倉）
(3) 参加者　市内大学生 8 名（西南女学院大学 4 名、九州国際大学 4 名）

(エ) ワールドリポート「いま、アジアの女性たちは～海外通信員を囲んでアジアを知ろう～」

① 日時　平成 27 年 1 月 24 日（土）10：00 ～ 12：00
② 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
③ 参加者　74 名
④ パネリスト　招へい事業で招へいした海外通信員 4 名
⑤ コーディネーター　藤井大輔
（九州国際大学国際関係学部准教授）

ワールドリポート

㈶「女性・平和・安全保障に関する行動計画」に関する市民意見交換会

① 日時　平成 26 年 5 月 31 日（土）14：00 ～ 16：00

② 場所　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③ 参加者　27 名

④ 主催　外務省

⑤ 共催　（公財）アジア女性交流・研究フォーラム

⑵ 海外拠点ネットワークの形成

海外のジェンダー関連組織に共通する課題の解決や女性の地位向上、男女共同参画社会の実現に向けた恒常的な海外ネットワークの形成を目指して、仁川広域市の女性関連施設や女性団体への訪問を行った。

ア　仁川広域市との交流事業

北九州市と姉妹都市である仁川広域市両市の女性団体の交流を促進し、相互理解を深めるとともに、韓国のジェンダー関連施設や女性団体の活動を学ぶことを目的に、北九州市の女性団体が仁川広域市を訪問し、ジェンダー関連組織・施設への訪問や仁川広域市の女性団体主催のセミナー及び交流会に参加した。

㈠ 日時　平成 26 年 10 月 20 日（月）～ 22 日（水）

㈡ 場所　韓国・仁川広域市

㈢ 訪問先　仁川広域市女性団体協議会（ウォン・プヒ会長）
仁川女性家族財団（Chang Pu Yeon 理事長）
等のジェンダー関連施設

㈣ 訪問人数および団体
合計 12 名
・北九州市女性団体連絡会議　4 名
（会長ほか 3 名）
・北九州市食生活改善推進員協議会　3 名
（会長ほか 2 名）
・北九州市保育士会　2 名（会長ほか 1 名）
・日本 BPW 連合会北九州クラブ　3 名
（副会長ほか 2 名）

仁川広域市女性団体協議会との交流の様子

保育所視察の様子

㈤ 同行者　西本祥子（KFAW 専務理事）
日高裕見子（KFAW 国際交流課課長）
南あゆみ（KFAW 国際交流課職員）

㈥ 現地協力　岩本真幸（北九州市総務企画局国際部アジア交流課担当係長・
仁川広域市国際協力官室北九州市派遣公務員）

⑶　海外派遣

昨年度北九州市において交流を実施したベトナムのハノイ女性連盟（グエン・ティ・ゴク・タイン会長）と、今年度北九州市と姉妹都市協定を締結したハイフォン市の外務局を訪問し、今後の交流の可能性を協議した。

ア　ベトナム・ハノイ市女性連盟およびハイフォン市外務局との交流

㈠　日時　　平成 26 年 11 月 2 日（日）～ 4 日（火）、
　　同年 11 月 5 日（水）～ 7 日（金）

㈡　場所　　ベトナム・ハイフォン市、ハノイ市

ハノイ市女性連盟訪問の様子

⑷　スタディツアー

昨年度に引き続き、「フィリピンで学ぶ国際協力」をテーマに、関心のある市民を公募してフィリピン・スタディツアーを実施した。

ア　事前学習会

㈠　日時　　平成 27 年 1 月 31 日（土）13：30 ～ 16：00

㈡　場所　　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

㈢　内容　　日本政府の国際協力とフィリピンの現状について
　　スタディツアーの概要説明と安全管理／注意事項など

㈣　講師　　天池麻由美（JICA 九州研修業務課）
　　堀内光子（KFAW 理事長）

㈤　参加者　4 名（スタディツアー参加予定者）

イ　スタディツアー

㈠　期間　　平成 27 年 2 月 23 日（月）～ 3 月 4 日（水）

㈡　場所　　フィリピン（マニラ首都圏、オロンガポ市）

㈢　内容

①　プレダ基金（虐待や商業的性的搾取の被害女児を保護している NGO）を訪問し、オリエンテーションと交流会を実施

②　先住民族のコミュニティーを訪問し、オリエンテーション、ホームステイを実施

③　DAWN（日比国際児支援団体）を訪問し、交流会を実施

④　チャイルドホープ（ストリートチルドレン支援団体）を訪問し、オリエンテーションを実施

⑤　ナボタス市のスラム街を訪問し、清掃ボランティアを実施

⑥　フェアトレード団体を訪問し、ブリーフィングを実施

⑦　ミリアム大学女性ジェンダー研究所（WAGI）を訪問し、ブリーフィングや意見交換会を実施　ほか

㈣　参加者　7 名

㈤　同行者　堀内光子（KFAW 理事長）
　　平井良知（KFAW 企画広報課課長）

先住民族コミュニティー訪問の様子

3　情報収集・発信事業

情報誌『Asian Breeze』の発行、KFAW ホームページや facebook ページの更新、海外通信員事業を実施して、アジア・太平洋諸国を中心とした海外について情報の収集や発信に努めた。

(1)　情報誌『Asian Breeze』等の発行

主にアジア・太平洋諸国の女性に関する情報やフォーラムの活動を広く国内外に情報提供し、ジェンダー問題についての理解を深めるとともに、国内外の公的女性関係機関、研究者や NGO などとのネットワークづくりを目指して、日本語と英語で情報誌『Asian Breeze』を発行した。

また、KFAW の活動の PR・記録用として、年間事業報告書『アニュアルレポート 2013』を作成した。

ア　情報誌『Asian Breeze』の発行

(ア)　発行部数　　日本語版 4,000 部、英語版 3,000 部

(イ)　発行回数・時期　第 71 号　平成 26 年 6 月
　　第 72 号　平成 26 年 10 月
　　第 73 号　平成 27 年 3 月

(ウ)　送付先　　市内公共施設のほか、国内・海外女性関連団体および研究機関、在日大使館、国連機関、国際関係団体など

『Asian Breeze』

イ　年間事業報告書の作成

フォーラム活動の PR・記録用として、年間事業報告書『公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム　アニュアルレポート 2013』を作成した。

(ア)　発行部数　　日本語版 400 部、英語版 50 部

(イ)　発行時期　　平成 26 年 8 月

(2)　海外通信員事業

アジア・太平洋諸国を中心とした海外における女性の状況についての情報収集を行うとともに、ネットワークを広げることを目指して、アジア・太平洋諸国在住者を中心に世界各国から毎年一定のテーマのもとに海外通信員を公募し、現地の最新情報をリポートしてもらっている。平成 26 年度は第 24 期海外通信員が活動を行った。通信員から提出されたリポートの一部は、情報誌『Asian Breeze』やホームページ、facebook などに掲載した。

ア　人数　　8 カ国 8 名（バングラデシュ、カンボジア、香港、インドネシア、オランダ、フィリピン、スリランカ、ウズベキスタン）

イ　任期　　平成 26 年 7 月～平成 27 年 3 月

ウ　リポート回数　3 回

4　国際研修事業

(1)　JICA 研修　行政官のためのジェンダー主流化政策 2014

開発途上国の中央政府および地方政府における政策、計画、実施、評価におけるジェンダー主流化と女性のエンパワーメントを図るため、日本におけるジェンダー主流化の取り組み事例を学ぶことにより、ジェンダー主流化に携わる行政官の課題解決能力の向上を目的に、独立行政法人国際協力機構九州国際センター（JICA 九州）の委託を受けて研修を実施した。

ア　研修概要

(ア)　期間　　平成 26 年 5 月 26 日～ 6 月 20 日

(イ)　場所　　独立行政法人国際協力機構九州国際センター　他

(ウ)　研修員　7 カ国 8 名（カンボジア（2)、ガーナ、モルディブ、ミャンマー、ネパール、ナイジェリア、ソロモン）

ワークショップの様子 1

ワークショップの様子 2

イ　市民交流会の開催

研修員と市民との交流を図り、ジェンダー問題を市民と考えるため、JICA 九州で実施されている「クロスロード・コミュニケーション」の中の「異文化理解セミナー」において市民交流会を実施した。

(ア)　日時　　平成 26 年 6 月 14 日（土）17：30 ～ 18：30

(イ)　場所　　独立行政法人国際協力機構九州国際センター

(ウ)　コーディネーター　日高裕見子（KFAW 国際交流課課長）

(エ)　参加者　　74 名

クロスロード・コミュニケーション

行政官たちから自己紹介

公益目的事業Ⅱ

男女共同参画に関する事業を通して男女共同参画社会の形成を図る事業

【概況】

アジア女性交流・研究フォーラムは、平成23年度から北九州市立男女共同参画センター・ムーブに加え、北九州市立東部勤労婦人センター（レディスもじ）および北九州市立西部勤労婦人センター（レディスやはた）の管理運営等を指定管理者として行っている。平成26年度も引き続き、北九州市立男女共同参画センターの管理運営で培ったこれまでの経験や東部および西部勤労婦人センターの実績や地域との関係を踏まえ、男女共同参画社会の推進を担う拠点施設3館を有機的に連携させながら各種事業を実施した。

1　指定管理事業

⑴　男女共同参画センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて各種男女共同参画事業等を実施するとともに、「ムーブフェスタ2014」の開催、相談事業、情報事業、施設管理業務を行った。

ア　男女共同参画事業

㈠　ジェンダー問題講座（4事業、参加延人数1,620名）

男女共同参画に関する講座、講演会、シンポジウムを開催し、ジェンダーをめぐる諸問題について啓発を行い、取り組みを促進した。

①　男女共同参画講座

・「覚悟を生きる～焦らない！私の人生、自ずと決まって行くから～」

・ムーブ・レディス映画祭“もうヒトハナ、咲かそ”

映画「人生、いろどり」＆いろどりカフェ

②　おとこのライフセミナー「鳥越流ポジティブな人生の歩き方」　ほか

㈡　就業支援講座（16事業、参加延人数6,176名）

女性のキャリアアップや経済的自立に向けたチャレンジ、また働き続けることを支援するため、キャリア意識の醸成や就業に係わるスキルの向上を図る講座、就業の機会を拡げるための再就職、起業等に関する講座を開催した。

①　働き女子の夢をかなえるキャリアアップ講座（次世代リーダー養成講座）、フォローアップセミナー

②　「私の事業」スタート講座～女性起業家支援塾2014～、フォローアップセミナー　ほか

㈢　生活技術講座（7事業、参加延人数880名）

男女の性別役割分担意識にとらわれずに、生活面でのあらゆる分野で学習、研究することにより、その技術の習得を図った。

①　男性向け講座（エプロン男子、ケアメン養成講座、おとこのライフシリーズ）

②　いまどきママのリフレッシュ講座　ほか

イ　市民活動支援・連携事業（4 事業、参加延人数 563 名）

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、男女共同参画センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

(ア)　ムーブ学生活動プロジェクト（まなびと ESD ステーション　ガーベラプロジェクト）

(イ)　ムーブサポーター事業　ほか

ウ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（5 事業、参加延人数 9,104 名）

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」に関する講座等を開催した。

(ア)　健康講座「心身ともにリフレッシュ！！シェイプアップヨガ」「身体ポカポカ　冬の体操講座」

(イ)　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ講座（出前講座）　ほか

エ　ムーブフェスタ 2014

全体のテーマが「つながる」、キャッチコピーは「大切にしよう　出会いとつながり」とし、市民の自主的な研究・実践活動を積極的に支援する市民企画事業を中心に、講演会、イベント等の事業を行った。

期間　　平成 26 年 7 月 5 日（土）～ 26 日（土）

参加延人数　55,141 人

(ア)　主催事業（5 事業）

①　オープニングイベント講演会

「男女共同参画ってこんな簡単だったんだ－テキパキ勤務が少子化問題も財政難も解決する！」

②　イベントステージ　ほか

(イ)　市民企画事業

①　総事業数　　94（イベント 55 事業、サマーカーニバル 9 事業、フリーマーケット 30 事業）

②　参加延人数　20,081 人

オ　相談事業

心の問題や生き方、性別による人権侵害等について、相談員がジェンダーの視点に立って相談に応じた。また、弁護士による女性の人権に関する相談や法律基礎講座、相談に携わる方々を対象により質の高い支援を目指した対人援助職者セミナーなどを開催した。

(ア)　相談

相談（一般・人権侵害・就労応援・男性・法律相談）

区　　分	電話相談件数	面接相談件数	合　　計	
一般相談	3,855 件（497 件）	307 件（6 件）	4,162 件（503 件）	4,807 件（552 件）
人権侵害相談	295 件　（20 件）	33 件（2 件）	328 件　（22 件）	
就労応援相談	75 件　　（0 件）	77 件（0 件）	152 件　　（0 件）	
男性電話相談	21 件　（21 件）	—	21 件　（21 件）	
法律相談	—	144 件（6 件）	144 件　　（6 件）	

※（　）内は男性からの相談件数で内数

(イ)　講座（4 事業、参加延人数 156 名）

①　女性のための法律基礎講座、男性のための法律基礎講座

②　女性への暴力ゼロ運動特別講座

「HOME ～若年女性への『搾取』という暴力の現状を考える～」　ほか

(ウ)　対人援助職者セミナー（参加人数 120 名）

医療、福祉、教育、司法、行政窓口担当など対人援助職者を対象に、相談対応技術・知識の向上と関連機関とのネットワークを深めることを目的に開催した。

①「カウンセリングの現場からみる母娘関係」

(エ)　ホットライン（相談件数 30 件）

女性の人権に関する相談に弁護士などが直接電話で応じた。

①　女性への人権侵害相談ホットライン【「男女共同参画週間」事業】

②　女性への暴力ゼロ！ホットライン【「女性への暴力ゼロ運動」事業】

(オ)　グループ相談（参加延人数 80 名）

①「対人援助職者のためのグループ相談～自分にもどれる大切なひとときを…～」

②「今、生きかた見直しどき～人生の終わりまでにやっておきたいこと～」

(カ)　自助グループへの支援（支援グループ数 7、参加延人数 174 名）

会場提供、ロッカーの提供、託児、グループ運営上のアドバイス等の支援を行った。

(キ)　その他啓発（2 事業）

①　パネル展示「デート DV について知ろう！」　ほか

カ　情報事業

(ア)　情報収集提供事業

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー問題に関する図書や資料等の収集・提供を行うとともに、絵本等の読み聞かせ会を開催した。また、市内等で活動している団体やムーブの施設・講座等の情報をホームページやムーブメール等により提供した。

①　図書・資料等の収集

ジェンダー問題関連の図書を中心に、行政資料、雑誌、児童書、DVD 等の収集・提供の充実を図った。

蔵書数（平成 27 年 3 月 31 日現在）

図書 54,184 冊、雑誌 83 種類、ビデオ 212 本、DVD98 本

②　図書・資料等の提供（貸出等）

図書や DVD 等の貸出・返却および利用者並びに資料の登録・検索、統計資料の作成等に関する管理を北九州市立図書館とオンライン化した電算システムで行った。また、北九州市立図書館共通図書カードにより貸出を行うとともに、北九州市の各図書館との相互貸借も行った。

(a)　図書情報室利用状況（平成 26 年度）　貸出冊数 37,835 冊、貸出者数 15,216 人

(b)　親子を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせをする「お話し会」　ほか

③　男女共同参画関連情報の収集・提供

(a)　団体情報（ムーブネット）の収集提供

男女共同参画社会の実現のために市内および近郊で活動している団体（グループ）の情報を情報システム「ムーブネット」により管理・提供した。

登録件数　　79 件（平成 27 年 3 月 31 日現在）

④　その他の情報提供

(a)　ホームページ

ムーブの講座・イベント、図書、貸室などの最新情報を随時更新し、ホームページで提供した。平成 26 年 6 月からフェイスブックを開始した。

ホームページアクセス数　237,222 件（平成 26 年度）

(b)　ムーブメール（メールマガジン）

ムーブの講座・イベントなどの最新情報を掲載したメールマガジン「ムーブメール」を月 1 回配信した。

ムーブメール登録者数　　329 人（平成 27 年 3 月 31 日現在）

(イ) 調査研究事業

① ジェンダー問題調査・研究支援事業

(a) 平成26年度ジェンダー問題調査・研究支援事業

身近なジェンダー問題を自主的に調査研究し、その問題解決を図るための糸口を見出そうと取り組んでいる市民グループ・研究者グループを支援するために、その調査費の一部（上限30万円）を助成。研究結果については、平成27年3月に報告書を発行した。

テーマ 「性的マイノリティの学生支援における課題」

研究者 河嶋静代（北九州市立大学文学部 教授）

(b) 第17回ジェンダー問題調査・研究報告会（ムーブフェスタで実施）

② ジェンダーに関する「ムーブ叢書」の発行事業

(a) ムーブ叢書『北九州市の男女共同参画統計データ集2014』

前回（2008年）データに最新のデータを追加するとともに、社会の変化に伴う新たな分野のデータを追加した。

・発行部数 500部

・体裁等 A4版（無料）

(b) 『北九州市における女性の活躍推進実態調査報告書』および『概要版』

北九州市内の従業員20人以上の事業所約2400カ所を対象に、女性管理職の登用状況、女性活躍推進（ポジティブ・アクション）の取り組み、育児休業、継続雇用等について調査を行い、その結果を報告書にまとめた。

・発行部数 報告書 500部、概要版 1,000部

・体裁等 A4版（無料）

③ 男女共同参画に関する啓発事業（参加人数39名）

(a) 講演会「ケアメンという生き方モデル～男性介護者100万人時代の提案～」

(ウ) 広報事業

① 情報誌「ムービング」の発行

(a) 発行日 73号 平成26年6月10日

74号 平成26年10月1日

75号 平成27年2月28日

(b) 発行部数 各号7,000部

② 書誌情報誌「カティング・エッジ」の発行

(a) 発行日 51号 平成26年6月10日

52号 平成26年10月1日

53号 平成27年2月28日

(b) 発行部数 各号3,000部

キ　施設管理業務

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

また、視察の受入れなど、他都市等との連絡調整を行った。

㈠　施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修等を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED 操作研修等）などの職員研修を実施した。

㈡　貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出しを行った。（原則有料）

平成 26 年度貸室利用人数　154,263 人

≪参考：主催事業参加延人数 117,143 人≫

㈢　その他

①　視察受入れ

他都市等からの視察を受入れ、事業説明・意見交換や施設見学を行った。

視察件数　　6 件（うち海外 0 件）、延人数 81 人

②　講師派遣

各団体からの依頼に応じ、セクシュアル・ハラスメント防止や男女共同参画等について講師を派遣し、講演・研修を実施した。

派遣件数　　8 件、延人数 638 人

（うち 7 件 572 人　再掲　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ講座）

⑵　勤労婦人センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて、各種男女共同参画事業等を実施するとともに、開館記念行事の開催や、施設の管理業務を行った。

【レディスもじ】

ア　男女共同参画事業

㈠　ジェンダー問題講座（9 事業、参加延人数 1,161 名）

男女共同参画に関する講座、講演会、ワークショップを開催し、子育て、健康、ワーク・ライフ・バランス等、様々な視点からジェンダーについて、わかりやすく啓発促進を行った。また、新たにムーブ・レディス 3 館合同事業として、映画祭を開催した。

①　女性学講座「源氏物語の女性たち」

②　ムーブ・レディス映画祭「燦燦」　ほか

(イ) DV・セクハラ防止啓発講座（参加人数 17 名）

表面化しにくい DV・セクハラについての防止や対処方法の啓発講座やセミナーを実施した。若い世代の女性の健康に深刻な影響を与えているデート DV の実態と予防について、学校での出前講座を行った。

① DV 防止啓発セミナー「デート DV についてかんがえよう！あなたは NO と言えますか」（出前講座）

(ウ) ワーク・ライフ・バランス推進講座（参加人数 27 名）

多様化する女性のライフコース、特に妊娠・出産を機に仕事を辞めざるを得ないことや、子育てが一段落してからの再就職が難しい現状を踏まえ、女性の自立とワーク・ライフ・バランスの重要性について啓発した。

① 「とも（男女）に考えよう！ワーク・ライフ・バランス」（出前講座）

(エ) 男性セミナー（2 事業、参加延人数 87 名）

男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、男女共同参画の視点から男性を対象に、健康の維持促進や料理の講座を開催した。

① 「男性のための料理あれこれ教室」 ほか

(オ) メディアリテラシー講座（参加人数 34 名）

メディアの本質を上手に利用する能力を身に付けるとともに、メディアの世界でジェンダーの視点はどう捉えられているのか、また、意図的に操作しようとしているメッセージはないか等、発信されるメッセージに対してメディアリテラシーの重要性を学ぶ講座を開催した。

① 「スマホ・ケータイの使い方」

イ 就業支援講座

女性の経済的自立へのチャレンジを支援する就業・再就職講座や就業に必要な技能取得のための講座を開催した。

(ア) 就職に役立つ資格取得講座（18 事業、参加延人数 2,907 名）

パソコン、簿記、司法書士入門、調剤事務管理士などの講座を実施し、女性の就職、再就職に結びつける講座を実施した。資格取得講座に関しては、講座終了後に追跡調査を実施し、就職状況等で効果の検証を行った。

① 日商簿記 3 級検定講座

② 調理師受験準備講座 ほか

(イ) 働く女性のためのキャリアアップ講座（27 事業、参加延人数 2,628 名）

働く女性の就業能力向上を目的として、アクセス、エクセル活用術など実務で活用できるパソコンや経済学、法律講座を実施した。

① 司法書士入門講座
② CAD トレース講座　ほか

(ウ) 女性の起業支援事業（参加延人数 62 名）
起業に際して必要な専門知識や方法を学ぶ講座を通して、女性の起業に向けた支援を行った。
① ネットショップ開設入門講座

(エ) 再就職支援事業
① 就職活動セミナー（6 事業、参加延人数 71 名）
再就職に必要な女性の能力開発と就職支援機関の利用法や就職状況の現状説明について、福岡県北九州労働者支援事務所やマザーズハローワーク北九州と連携事業として開講した。
② 再就職準備セミナー（2 事業、参加延人数 21 名）
多様な働き方を支援するための情報提供を図ると同時に、キャリアカウンセリング等で自己認識の助成を行い、就職後役立つコミュニケーションの取り方や時短料理について学ぶ機会を提供した。　ほか

ウ　生活技術講座
(ア) 子育て支援講座（5 事業、参加延人数 350 名）
男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を親子で習得することを目的とした親子講座や、親（保護者）と子どものふれ合いを通して、感性をはぐくむ講座を開催した。
① わらべの日事業「親子チャレンジ教室前期・後期」
② 「ベビー・マッサージ」 ほか

(イ) 生活技術講座（13 事業、参加延人数 519 名）
女性の健康、家庭、インターネット、タブレットの使い方などをテーマとして、時代に即した話題で生活の充実を目的とした講座を開催した。
① タブレット入門講座
② 体幹を鍛えよう　～体力づくりとシェイプアップ～　ほか

エ　市民活動支援・連携事業
(ア) 市民企画事業（7 事業、参加延人数 593 名）
男女共同参画の啓発と市民団体の育成を図ることを目的として、レディスもじを活用し、男女共同参画に関連する事業を実施する団体との共催により事業を行った。
① 市民企画支援事業 「女と男の落語寄席」
② 市民企画事業 「マリンバ コンサート」 ほか

(イ) 友の会育成事業（7 事業、参加延人数 674 名）

市民の自主的、主体的な活動を支援するとともに、男女共同参画の理解と利用者相互の親睦を深め、生き生きとした活動が実施できるような友の会の指導育成を図った。

① 開館 27 周年記念　　第 27 回フェスティバル

② 東日本大震災　支援活動　ほか

(ウ) 国際交流事業（2 事業、参加延人数 31 名）

外国および日本の伝統文化や食を通して、市民が気軽に参加できる市民レベルでの相互交流と相互理解を促進する事業を実施した。

① 「世界の食卓」 ほか

(エ) 託児支援事業

再就職や社会参画を希望する育児中の能力開発等が行える環境整備として、託児業務および託児サポーターの養成などの事業を託児サークルの協力を得て実施した。

オ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（4 事業、参加延人数 196 名）

リプロダクティブ・ヘルス／ライツはライフサイクルを通じて、特に女性の健康の自己決定を保障する考え方である。男女平等を理念に性に関する正しい知識の取得により、女性の性的自己決定が尊重されるような啓発事業を行った。若い世代に知識を広めるため、学校での出前講座を行った。

(ア) リプロダクティブ・ヘルス／ライツ出前講座「大切にしていますか！あなたの心と体」

(イ) からだにやさしい東洋医学　ほか

カ　開館記念行事（参加人数 295 名）

レディスもじの開館記念事業として、男女共同参画の理念と実践をわかりやすく語ってもらう講演会等を実施した。

(ア) 開館 27 周年記念講演会「仕事も家庭も一生懸命　出会いの人生から学んだこと～」

キ　相談事業（相談延人数 24 名）

(ア) 女性のための相談室

(イ) 女性のための無料法律相談

ク　情報提供事業

女性に関する情報、就職に関する情報および勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供を行った。情報資料室を設置しているレディスもじでは、図書ボランティアの協力も得て、多くの情報を提供するとともに、ホームページや通信を利用して、様々な情報発信に努めた。

【レディスやはた】

ア　男女共同参画事業

㈠　ジェンダー問題講座（6 事業、参加延人数 204 名）

日常生活の中で関心の高いテーマを題材とし、子育て、介護、健康などさまざまな視点から、ジェンダーについてワークショップ形式を取り入れ、わかりやすいセミナーを実施した。また、新たにムーブ・レディス 3 館合同事業として映画祭を開催した。

①　女性学講座「博物館と女性～文化財の保存と修復」

②　ムーブ・レディス映画祭「マルタのやさしい刺繍」　ほか

㈡　DV・セクハラ防止啓発講座（2 事業、参加延人数 76 名）

表面化しにくい DV・セクハラについての防止や対処方法の啓発講座やセミナーを実施した。若い世代の女性の健康に深刻な影響を与えているデート DV の実態と予防について中学生を対象に講座を実施した。

①　デート DV 防止啓発セミナー「デート DV って何？」

②　女性のためのセルフディフェンス講座

㈢　ワーク・ライフ・バランス推進講座（2 事業、参加延人数 25 名）

多様化する女性のライフコース、特に妊娠・出産を機に仕事を辞めざるを得ないことや、子育てが一段落してからの再就職が難しい現状を踏まえ、女性の自立とワーク・ライフ・バランスの重要性について啓発した。

①「女性の自立とワーク・ライフ・バランス」

②「人生の中でキャリアを考える」

㈣　男性セミナー（参加延人数 50 名）

男女が固定的な性的役割分担意識にとらわれずに、男女共同参画の視点から男性を対象に料理を学ぶための講座を開催した。

①「マスターのサクッと洋風つまみづくり」

㈤　メディアリテラシー講座（参加人数 65 名）

性別による固定的役割分担や女性に対する暴力などを助長し、または連想させるような表現の排除に向けて、メディアからの情報を主体的に読み解いていく能力向上の学習と、メディアにおける女性の人権を尊重した表現の促進のための取り組みを実施した。

①「メディアの現場裏話」

イ　就業支援講座

女性の経済的自立へのチャレンジを支援する就業・再就職講座や就業に必要な技能取得のための講座を開催した。

(ア) 就職に役立つ資格取得講座（17 事業、参加延人数 3,082 名）

パソコン、簿記、相続アドバイザーなどの講習を実施し、女性の就職、再就職に結びつける講座を実施した。また、女性のライフプランやキャリアプランも多様化していることから、基礎的な資格取得講座のほか難易度の高い社会保険労務士・宅地建物取引主任者・行政書士等の講座を実施した。資格取得講座に関しては、講座終了後に追跡調査を実施し、就職状況等で効果の検証を行った。

① 社会保険労務士試験対策講座

② ホスピタリティ 3 級検定講座　ほか

(イ) 働く女性のためのキャリアアップ講座（11 事業、参加延人数 1,061 名）

働く女性の職業能力向上を目的として、アクセス、エクセル活用術（マクロ・関数）など実務で活用できるパソコンや経済学、心理学をテーマとした講座を実施した。

① 行政書士入門講座

② 仕事が楽になる講座　ほか

(ウ) 女性の起業支援事業（4 事業、参加延人数 357 名）

起業に際して必要な専門知識や方法を学ぶ講座を通して、女性の起業に向けた支援を実施した。

① リンパドレナージ養成講座

② 魅力がアップする話し方講座　ほか

(エ) 再就職支援事業

① 就職活動セミナー（4 事業、参加延人数 37 名）

再就職に必要な女性の能力開発と就職支援機関の利用法や就職状況の現状説明について、福岡県北九州労働者支援事務所やマザーズハローワーク北九州と連携事業として開講した。

② 再就職準備セミナー（参加人数 15 名）

新たに、子どものキャリア形成のための指導・支援を学ぶ講座を開催した。　ほか

ウ 生活技術講座

(ア) 子育て支援講座（7 事業、参加延人数 446 名）

男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を親子で習得することを目的として、親（保護者）と子どもがパンづくりや料理を通して、ふれあい、食育について考えることのできる調理講座や親（保護者）と子どもで創意・工夫して物作りを行い、ふれあいの場を提供する絵てがみ教室などを開催した。

① わらべの日事業「親子でパン教室」

② 父と子のふれあいクッキング「パパと仲良しピザづくり」 ほか

(イ) 生活技術講座（9 事業、参加延人数 636 名）

女性の健康、家庭、親子のふれあいなどをテーマとして、家族生活の充実を目的とした講座を開催した。

① セレブな季節の料理教室

② パンでナイト　ほか

エ　市民活動支援・連携事業

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、勤労婦人センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

(ア) 市民企画事業（3 事業、参加延人数 278 名）

男女共同参画の啓発と市民団体の育成を図ることを目的として、レディスやはたを活用し、男女共同参画に関連する事業を実施する団体との共催により事業を実施した。

① 北九州ランチャーズライブ～懐かしいサウンドが今蘇る～

② プロが奏でる新春ギターコンサート　ほか

(イ) 友の会育成事業（7 事業、参加延人数 3,087 名）

市民の自主的、主体的な活動を支援するとともに、男女共同参画の理解と利用者相互の親睦を深め、生き生きとした活動が実施できるよう友の会の指導育成を図った。

① レディスやはたフェスティバル　ほか

(ウ) 国際交流事業（3 事業、参加延人数 111 名）

外国および日本の伝統文化を通して、市民が気軽に参加できる市民レベルでの相互交流と相互理解を促進する事業を実施した。

① 「狂言・棒しばり」 ほか

(エ) 託児支援事業

再就職や社会参画を希望する育児中の能力開発等が行える環境整備として、託児業務および託児サポーターの養成などの事業を託児サークルの協力を得て実施した。

オ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（8 事業、参加延人数 1,162 名）

リプロダクティブ・ヘルス／ライツは、ライフサイクルを通じて、特に女性の健康の自己決定を保障する考え方である。男女平等を理念に性に関する正しい知識の取得により、女性の性的自己決定が尊重されるような啓発事業を行った。

(ア) リプロダクティブ・ヘルス／ライツ出前講座「デート DV って何？」

(イ) 骨盤矯正シリーズ　ほか

カ　開館記念行事（参加人数 288 名）

レディスやはたの開館記念事業として、男女共同参画の理念と実践をわかりやすく語ってもらう講演会等を実施した。

㈠　開館 37 周年記念講演会「もっとやさしく、もっと自由に」～共に生きる社会をめざして～

キ　相談事業（相談延人数 48 名）

㈠　女性のための相談室

㈡　女性のための無料法律相談

ク　情報提供事業

女性に関する情報、就職に関する情報および勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供を行った。

㈠　男女共同参画啓発「お母さんが語る女子差別撤廃条約」パネル展示　ほか

【勤労婦人センター管理業務】

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

ア　施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED 操作研修等）などの職員研修を実施した。

イ　貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出を行った。（原則有料）

平成 26 年度貸室利用人数　レディスもじ 80,138 人　レディスやはた 78,635 人

≪参考：主催事業参加延人数　レディスもじ 24,558 人　レディスやはた 28,021 人≫

２　自主事業

⑴　男女共同参画センター自主事業

ア　男女共同参画講座（英会話）（再掲）

イ　就業支援講座（医療事務講座、調剤事務講座、パソコン講座　等）（再掲）

ウ　生活技術講座（夏休み親子木工教室）（再掲）

エ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（シェイプアップヨガ　等）（再掲）

⑵　勤労婦人センター自主事業

ア　就業支援講座（各種資格取得講座　等）（再掲）

イ　生活技術講座（初心者パソコン　等）（再掲）

ウ　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業（骨盤体操講座　等）（再掲）

平成 26 年度　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ利用状況

（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

室名＼区分		開所日数（日）	利用日数（日）	利用率（%）	利用人員（人） 主催事業	（男性内数）	貸室利用	（男性内数）	総利用者数	（男性内数）
ホール		343	200	58.3%	7,561	2,223	33,584	14,594	41,145	16,817
大セミナールーム		343	229	66.8%	2,104	212	16,371	7,666	18,475	7,878
小セミナールーム		343	264	77.0%	2,528	241	6,441	2,860	8,969	3,101
企画ルーム１		343	269	78.4%	190	19	2,903	962	3,093	981
企画ルーム２		343	314	91.5%	846	153	2,671	742	3,517	895
料理室		343	205	59.8%	1,010	563	2,074	376	3,084	939
和室（茶室兼備）		343	253	73.8%	196	29	2,698	506	2,894	535
茶室（立礼形式）		343	75	21.9%	17	1	554	199	571	200
ﾌｨｯﾄﾈｽﾙｰﾑ	専用	343	263	76.7%	214	14	334	13	548	27
	個人				8,363	1,232	—	—	8,363	1,232
	小計				8,577	1,246	334	13	8,911	1,259
工芸室	専用	343	251	73.2%	1,063	594	2,591	292	3,654	886
	個人				0	0	—	—	0	0
	小計				1,063	594	2,591	292	3,654	886
OA ルーム	専用	343	225	65.6%	3,106	364	0	0	3,106	364
	個人				946	168	—	—	946	168
	小計				4,052	532	0	0	4,052	532
グループ活動室		343	319	93.0%	401	19	7,132	1,340	7,533	1,359
こどもの部屋		343	223	65.0%	2,174	643	11	3	2,185	646
交流広場		343	343	100.0%	42,878	9,081	76,899	29,674	119,777	38,755
相談室		—	—	—	7,362	1,368	—	—	7,362	1,368
図書・情報室		—	—	—	36,184	21,710	—	—	36,184	21,710
合　計		—	—	—	117,143	38,634	154,263	59,227	271,406	97,861

男性利用率　36.1%

（参考）・前年度（H25 年度）……265,647 人　（内男性 92,507 人）　（男性利用率　34.8%）

内訳
- 主催　109,267 人　（内男性　36,466 人）
- 貸室　156,380 人　（内男性　56,041 人）

開所からの利用者累計（H7.7 ～ H27.3 月）　……　5,831,305 人

講師派遣参加者数・視察受入数　（外数）

		H26 年度累計（H26.4 月～ H27.3 月） 件数	人数	前年度累計（H25.4 月～ H26.3 月） 件数	人数
講師派遣参加者数	施設運営課受付※1	1 件	66 人	12 件	560 人
	事業課主催講座※2	7 件	572 人	7 件	517 人
	小計	8 件	638 人	19 件	1,077 人
視察受入数（国内）		6 件	81 人	12 件	107 人
視察受入数（国外）		0 件	0 人	6 件	64 人
合　計		**14 件**	**719 人**	**37 件**	**1,248 人**

※ 1　セクシュアル・ハラスメント研修、男女共同参画講演等講師派遣
※ 2　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ講座講師派遣

平成 26 年度　東部勤労婦人センター利用状況

室名＼区分		開館日数（日）	利用日数（日）	利用率（%）	利用人員（人）			前年比
					主催事業	貸室利用	計	
第 1 講習室		294	247	84%	2,079	4,719	6,798	83%
第 2 講習室		294	173	59%	3,573	2,919	6,492	100%
料理講習室		294	88	30%	1,439	1,784	3,223	124%
和室		294	208	71%	1,651	5,966	7,617	112%
音楽室		294	182	62%	5,340	3,954	9,294	90%
体育室	専用	294	121	41%	2,483	3,831	6,314	109%
	個人		261		—	4,734	4,734	79%
	小計	294	382		2,483	8,565	11,048	94%
トレーニング室		294	292	99%	946	6,953	7,899	98%
情報資料室		294	294	100%	4,631	16,941	21,572	94%
談話室		294	294	100%	—	28,337	28,337	159%
託児室		294	141	48%	705	—	705	100%
相談室		294	49	17%	222	—	222	224%
その他		294	40	14%	1,489	—	1,489	122%
合　計		—	—	—	**24,558**	**80,138**	**104,696**	**108%**

男性の利用状況（内数で表示）	主催事業	貸室利用	計	前年比
	4,911	**15,553**	**20,464**	**104%**

平成 26 年度　西部勤労婦人センター利用状況

室名＼区分		開館日数（日）	利用日数（日）	利用率（%）	利用人員（人）			前年比
					主催事業	貸室利用	計	
第 1 講習室		294	256	87%	5,817	3,044	8,861	91.2%
第 2 講習室		294	169	57%	2,873	5,562	8,435	106.4%
第 3 講習室		294	233	79%	7,041	6,027	13,068	107.8%
料理講習室		294	134	46%	2,703	1,925	4,628	92.6%
和室 1		294	174	59%	2,194	5,359	7,553	82.0%
和室 2		294	154	52%	2,194	5,100	7,294	81.8%
舞台ホール		294	94	32%	1,879	4,796	6,675	82.0%
体育室	専用	294	273	93%	2,666	8,575	11,241	83.4%
	個人				—	956	956	249.0%
	小計				2,666	9,531	12,197	88.0%
ロビー		294	291	99%	—	36,721	36,721	210.3%
託児室		294	162	55%	493	262	755	75.5%
相談室		294	26	9%	87	—	87	39.7%
その他		294	10	3%	74	308	382	57.7%
合計		—	—	—	**28,021**	**78,635**	**106,656**	**113.2%**

男性の利用状況（内数で表示）	主催事業	貸室利用	計	前年比
	1,251	**28,950**	**30,201**	**120%**

収益事業等

その他事業Ⅰ：北九州市大手町ビル維持管理事業

【概況】

北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外）の施設・設備の保守点検および修繕による維持管理、並びに光熱水費の管理を行うとともに、北九州市大手町ビルの入居団体との施設の維持管理、防災、環境などに関する連絡、調整を行った。

その他事業Ⅱ：北九州市立男女共同参画施設の公益目的外の貸与事業

【概況】

北九州市立男女共同参画センターおよび北九州市立勤労婦人センター（東部・西部）において指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行った。

法人事業

法人事業

【概況】

理事会・評議員会の開催や、フォーラムサポーターや賛助会員の募集により、公益財団法人の適正な運営を行うとともに、円滑な情報処理が出来るよう、事務所内の情報システム管理を行った。

1　理事会・評議員会の開催

平成 26 年度は 3 回の理事会（うち 1 回はみなし決議）、臨時評議員会（みなし決議）および定時評議員会を開催し、決算等の承認、理事長および専務の職務執行状況の報告並びに役員の交代等、財団運営の根幹となる重要事項の決議等を行った。

第 1 回理事会　　平成 26 年 5 月 9 日みなし決議
第 2 回理事会　　平成 26 年 6 月 5 日開催
第 3 回理事会　　平成 27 年 3 月 10 日開催
臨時評議員会　　平成 26 年 5 月 28 日みなし決議
定時評議員会　　平成 26 年 6 月 20 日開催

2　フォーラムサポーター活動の推進及び賛助会員の拡充

フォーラムサポーターと協働で事業運営を行い、フォーラムサポーター活動の推進を図った。
また、多くの方々とネットワークを広げ、財政基盤の強化を目指して賛助会員の拡充に努めた。
【平成 26 年度実績】会費収入　611,500 円

区　分	年額（1 口）	加入人数	加入口数
個　人	3,000 円	80 名	87 口
団　体	20,000 円	16 件	17 口
学　生	1,500 円	7 名	7 口

※　ただし、10 月以降の新規会員については、会費は半額。

3　情報システム管理事業

昨年度に引き続きウィルスやハッキングなどの犯罪に対して必要なセキュリティ対策を行った。

財務諸表

貸借対照表内訳表

平成 27 年 3 月 31 日現在　　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合　　計
Ⅰ　資産の部					
1．流動資産					
現金預金	60,231,522	5,925,923	5,870,954		72,028,399
未収金	1	0	13,510		13,511
貯蔵品	2,254,536	0	0		2,254,536
前払金	0	0	238,870		238,870
仮払金	239,000	0	108,539		347,539
流動資産合計	62,725,059	5,925,923	6,231,873		74,882,855
2．固定資産					
(1)基本財産					
投資有価証券	164,619,696	0	164,619,695		329,239,391
定期預金	3,191	0	3,191		6,382
基本財産合計	164,622,887	0	164,622,886		329,245,773
(2)その他固定資産					
車両運搬具	1	0	0		1
什器備品	1,703,245	0	47,661		1,750,906
電話加入権	245,000	0	245,000		490,000
出資金	25,000	0	25,000		50,000
その他固定資産合計	1,973,246	0	317,661		2,290,907
固定資産合計	166,596,133	0	164,940,547		331,536,680
資　産　合　計	229,321,192	5,925,923	171,172,420		406,419,535
Ⅱ　負債の部					
1．流動負債					
未払金	24,020,171	5,925,923	1,160,562		31,106,656
前受金	1,226,838	0	0		1,226,838
預り金	670,247	0	3,817		674,064
仮受金	16,556	0	0		16,556
流動負債合計	25,933,812	5,925,923	1,164,379		33,024,114
負　債　合　計	25,933,812	5,925,923	1,164,379		33,024,114
Ⅲ　正味財産の部					
1．指定正味財産					
市補助金	150,000,000	0	150,000,000		300,000,000
寄付金	11,583,048	0	11,583,047		23,166,095
指定正味財産合計	161,583,048	0	161,583,047		323,166,095
（うち基本財産への充当額）	161,583,048	0	161,583,047		323,166,095
（うち特定資産への充当額）	0	0	0		0
2．一般正味財産	41,804,332	0	8,424,994		50,229,326
（うち基本財産への充当額）	3,039,839	0	3,039,839		6,079,678
（うち特定資産への充当額）	0	0	0		0
正味財産合計	203,387,380	0	170,008,041		373,395,421
負債及び正味財産合計	229,321,192	5,925,923	171,172,420		406,419,535

正味財産増減計算書内訳表

平成 26 年 4 月 1 日から 平成 27 年 3 月 31 日まで　　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計			収益事業等会計		小　計	法人会計	合　　計
	日本及びアジア地域の女性の地位向上支援事業	男女共同参画社会の形成支援事業	小　計	北九州市大手町ビル維持管理事業	男女共同参画センター公益目的外貸与事業			
Ⅰ　一般正味財産増減の部								
1．経常増減の部								
(1)経常収益								
基本財産運用益	1,813,501	0	1,813,501	0	0	0	1,813,500	3,627,001
受取会費	307,250	0	307,250	0	0	0	307,250	614,500
事業収益	116,054	0	116,054	0	0	0	0	116,054
指定管理施設自主事業費収益	0	18,187,250	18,187,250	0	0	0	0	18,187,250
委託料収益	3,295,011	0	3,295,011	0	0	0	0	3,295,011
北九州市委託金収益	0	285,977,083	285,977,083	32,679,434	19,628,355	52,307,789	0	338,284,872
受取補助金等	39,078,224	0	39,078,224	0	0	0	20,519,667	59,597,891
雑収益	14,865	62,222	77,087	0	0	0	299,648	376,735
経常収益計	44,624,905	304,226,555	348,851,460	32,679,434	19,628,355	52,307,789	22,940,065	424,099,314
(2)経常費用								
事業費	44,538,690	301,534,371	346,073,061	32,679,434	19,628,355	52,307,789	0	398,380,850
管理費	0	0	0	0	0	0	23,194,569	23,194,569
経常費用計	44,538,690	301,534,371	346,073,061	32,679,434	19,628,355	52,307,789	23,194,569	421,575,419
当期経常増減額	86,215	2,692,184	2,778,399	0	0	0	▲ 254,504	2,523,895
2．経常外増減の部								
(1)経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用								
除却損失	0	6,656	6,656	0	0	0	0	6,656
経常外費用計	0	6,656	6,656	0	0	0	0	6,656
当期経常外増減額	0	▲ 6,656	▲ 6,656	0	0	0	0	▲ 6,656
当期一般正味財産増減額	86,215	2,685,528	2,771,743	0	0	0	▲ 254,504	2,517,239
一般正味財産期首残高	11,480,244	27,552,345	39,032,589	0	0	0	8,679,498	47,712,087
一般正味財産期末残高	11,566,459	30,237,873	41,804,332	0	0	0	8,424,994	50,229,326
Ⅱ　指定正味財産増減の部								
基本財産運用益	1,813,501	0	1,813,501	0	0	0	1,813,500	3,627,001
一般正味財産への振替額	▲ 1,813,501	0	▲ 1,813,501	0	0	0	▲ 1,813,500	▲ 3,627,001
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	161,583,048	0	161,583,048	0	0	0	161,583,047	323,166,095
指定正味財産期末残高	161,583,048	0	161,583,048	0	0	0	161,583,047	323,166,095
Ⅲ　正味財産期末残高	173,149,507	30,237,873	203,387,380	0	0	0	170,008,041	373,395,421

財務諸表に対する注記

平成 27 年 3 月 31 日現在

1　継続企業の前提に関する注記

継続事業をするにあたって、重要な疑義を抱かせるような事象または状況は存在しない。

2　重要な会計方針

⑴「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日　平成 21 年 10 月 16 日改正内閣府公益認定等委員会）を採用している。

⑵　有価証券の評価基準および評価方法
　満期保有目的の債券・・・取得原価

⑶　固定資産の減価償却の方法
　車両運搬具・・・定率法によっている。
　什器備品・・・定率法によっている。
　無形固定資産・・・定額法によっている。

⑷　消費税の会計処理
　消費税の会計処理は税込方式によっている。

3　基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	329,239,391	0	0	329,239,391
定期預金	6,382	0	0	6,382
小　計	329,245,773	0	0	329,245,773
特定資産				
小　計	0	0	0	0
合　計	329,245,773	0	0	329,245,773

4　基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
投資有価証券	329,239,391	(323,166,095)	(6,073,296)	－
定期預金	6,382	(0)	(6,382)	－
小　計	329,245,773	(323,166,095)	(6,079,678)	－
特定資産				
小　計	0	(0)	(0)	(0)
合　計	329,245,773	(323,166,095)	(6,079,678)	(0)

5　固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
車両運搬具	1,400,000	1,399,999	1
什器備品	12,821,518	11,070,612	1,750,906
合　計	14,221,518	12,470,611	1,750,907

6　補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
市補助金		300,000,000	－－	－－	300,000,000	指定正味財産
受取市補助金	北九州市	－－	59,597,891	59,597,891	0	一般正味財産
合　計		300,000,000	59,597,891	59,597,891	300,000,000	

7　満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価並びに評価損益は次のとおりである。

（単位：円）

科目	帳簿価格	時価	評価損益
投資有価証券			
第 311 回 10 年国債	99,755,000	103,580,000	3,825,000
第 286 回大阪府公債	100,000	101,150	1,150
共同発行地方債	199,900,000	200,560,000	660,000
第 61 回利付国債（20 年）	9,484,391	10,117,213	632,822
第 1 回新潟県公債	20,000,000	20,478,360	478,360
合　計	329,239,391	334,836,723	5,597,332

8　指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産利息（共同発行地方債）	2,600,000
基本財産利息（第 286 回大阪府公債）	1,500
基本財産利息（第 1 回新潟県公債）	130,000
基本財産利息（第 311 回 10 年国債）	800,000
基本財産利息（第 61 回利付国債 20 年）	95,500
定期預金利息	1
合計	3,627,001

9　関連当事者との取引の内容

該当なし。

10　重要な後発事象

該当なし。

資　　料

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み

1989年8月23日	北九州市の「自ら考え自ら行う地域づくり事業（ふるさと創生事業）」として「アジアの女性の研究・研修システム（仮称）アジア女性フォーラム」が101の案の中から選定される。
11月1日	アジア女性フォーラム（仮称）の基本構想について検討し、総合的な提言を得るため、北九州市長の私的諮問機関として、元労働省婦人少年局長高橋久子氏を委員長とする「アジア女性フォーラム基本構想委員会」が設置される。
12月26日	基本構想委員会が、組織の正式名称を「アジア女性交流・研究フォーラム」とすることを提言し、名称が決定する。
1990年1月19日～21日	東京ドームで開催された「ふるさと創生展」において、アジア女性交流・研究フォーラムの目指す事業が、マルチスライドを使って紹介される。
2月11日～3月24日	北九州市の7区に組織されている「女性会議実行委員会」の主催により、アジア女性交流・研究フォーラムの設立気運を盛り上げるため、各区においてシンポジウム・交流会・展示会・講演会等「アジア女性フォーラム各区イベント」が開催される。
3月30日	基本構想委員会が「アジア女性交流・研究フォーラム基本構想」を北九州市長に提言する。
3月31日	「'90アジア国際シンポジウム」（テーマ：アジア・女性・未来～共に考え共に歩もう）を開催する。
6月～9月	第1回アジアセミナーを開催する。（～2000年まで毎年開催）
7月5日	アジア女性交流・研究フォーラムのより具体的な活動について検討するため、北九州市長の私的諮問機関として、「アジア女性交流・研究フォーラム懇談会」が設置される。
7月23日	アジア女性交流・研究フォーラム提言をもとに基本構想が策定される。
10月20日	**アジア女性交流・研究フォーラム設立**（理事長　高橋久子）
10月20日	アジア女性交流・研究フォーラムの設立を記念して、伊東すみ子東京高等裁判所判事を講師として、「国際社会における女性の役割」をテーマに講演会を開催する。
10月	共同研究事業「開発が女性と家族に与える影響」が開始される。
1991年3月9日～10日	「第1回アジア女性会議―北九州」（テーマ：アジアと女性の今）を開催する。（以後毎年開催）
3月	情報誌『Asian Breeze』創刊
4月	プロジェクト研究事業が開始される。
5月	海外通信員制度始まる。（以後毎年実施）
12月1日～2日	「第2回アジア女性会議―北九州」（テーマ：政策決定における女性）を開催する。
1992年3月18日～27日	「第1回女性の地位向上のための行政官セミナー（2002年からは「ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー」、2010年からは「行政官のためのジェンダー主流化政策」に名称変更）」（JICAの委託事業）を開催する。（以後毎年開催）
7月24日	1993年10月を目標に財団法人化を図るため、基本財産積み立てのための募金活動を行う募金委員会が理事等の役員を中心に発足し、募金活動を開始する。
11月13日～15日	「第3回アジア女性会議―北九州」（テーマ：環境と開発と女性）を開催する。
11月24日	国連婦人開発基金（ユニフェム）の活動を支援するための組織として、ユニフェム日本国内委員会を国際婦人年連絡会および財団法人横浜女性協会とともに設立し、その正会員となる。

1993年３月　『アジア女性シリーズ』第１号が発刊される。（中国）

５月　「国際理解のための教材ビデオ」制作事業を開始する。

９月17日　財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立発起人会を開催する。

９月22日　労働省より、財団法人としての設立を許可される。

10月１日　**財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立**（理事長　高橋久子）

11月19日～21日　「第４回アジア女性会議―北九州」（テーマ：地球の未来と人口）を開催する。

1994年２月８日　高橋久子理事長が最高裁判所判事就任のため理事長を辞任する。三隅佳子専務理事が理事長代行となる。

４月　共同研究事業「アジアの働く女性シリーズ」を開始する。

９月１日～８日　第１回海外通信員セミナーを開催する。

11月18日～20日　「第５回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性と家族）を開催する。

1995年４月１日　北九州市から北九州市立女性センターの管理運営業務の委託を受ける。

６月15日　事務所を北九州市大手町ビルに移す。

６月22日　第２代理事長に奥田八二氏が就任する。

７月１日～８日　北九州市立女性センターのオープニングイベントを開催する。

９月４日～11日　国連婦人の地位委員会のオブザーバー参加資格を得る。国連第４回世界女性会議にオブザーバー参加する。また、NGO フォーラムにも参加し、ワークショップを開催する。

11月17日～19日　「第６回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性と労働）を開催する。

1996年２月16日～３月21日　「第１回環境と開発と女性セミナー」（JICA の委託事業）を開催する（～2008年まで毎年開催）

11月15日～17日　「第７回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性とメディア）を開催する。

1997年１月　ホームページを開設する。

４月１日　三隅佳子専務理事が理事長代行となる。

９月22日　「客員研究員制度」を設置する。

11月７日～９日　「第８回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性と教育）を開催する。

1998年３月24日　第３代理事長に高橋久子氏が就任する。

６月　「国際協力カレッジ」を開催する。

10月10日　財団設立５周年記念事業を実施する。

11月７日～８日　「第９回アジア女性会議―北九州」（テーマ：ジェンダーの視点の主流化（メインストリーム）をめざして）を開催する。

12月12日～13日　地球市民教育地域セミナーを開催する。

1999年４月12日　「ジャパン・ソサエティ地方政治・公共政策フェローシップ事業」を実施する。

９月　「フォーラム懇話会」を実施する。

10月17日～31日　「女性起業家支援塾」（北九州市立女性センターの委託事業）を開催する。

11月６日～７日　「第10回アジア女性会議―北九州」（テーマ：男女共同参画の世紀を拓く～女性2000年会議とその後～）を開催する。

2000年１月９日～15日　「女性起業家スタディツアー」（アメリカ　サンフランシスコ）を実施する。

６月５日～９日　国連特別総会「女性2000年会議―21世紀に向けての男女平等・開発・平和」にオブザーバーとして参加する。

６月５日～８日　「女性2000年会議」に関連したNGOのシンポジウム「北京＋５グローバルフェミニストシンポジウム（アメリカ　ニューヨーク）」に参加する。またワークショップを開催する。

９月３日　北九州市で開催された「アジア・太平洋環境大臣会議」の関連事業として「アジア・太平洋環境女性会議（第11回アジア女性会議―北九州）」を開催する。

11月　自治大臣表彰「世界に開かれたまちづくり」を受賞する。

12月28日　理事長制から会長制へ移行、その他諸規定についての寄附行為変更が認可される。

2001年２月25日～３月５日　「環境問題を考えるスタディツアー（マレーシア）」を実施する。

４月１日　原ひろ子氏が初代会長に、第４代理事長に三隅佳子氏が、前理事長の高橋久子氏が顧問に、それぞれ就任する。

７月26日～28日　「持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）北東アジア準備会合及びマルチステークホルダー会合（中国　北京）」に参加する。

７月～９月　北九州博覧祭2001の関連事業を実施する。
・JICA研修員による報告「世界から日本へ！日本から未来へ」
・渥美雅子弁護士男女共同参画型講談「山内さんちのパートナーシップ」

９月12日～16日　「第１回北東アジア女性環境会議（韓国　ソウル）」に参加する。

10月６日～７日　「第12回アジア女性会議―北九州」（テーマ：自分らしく健康に生きる～ジェンダーを超えて）を開催する。

11月24日～12月１日　「持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）に向けてのハイレベル地域会合及び持続可能な開発に関するアジア太平洋ラウンドテーブル（カンボジア　プノンペン）」に参加する。

11月28日～12月２日　「アフガニスタン女性と子どもの写真展」とアフガニスタンセミナーPart1を開催する。

2002年１月18日　環境シリーズセミナー「リオ＋10　ヨハネスブルグ・サミットにむけて世界の準備状況」を開催する。

２月９日～17日　北九州市と東京で「円卓会議：持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）に向けて」を開催する。

３月１日～10日　第46回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ　ニューヨーク）に参加する。

３月22日　アフガニスタンセミナーPart2を開催する。

３月23日～４月５日　「WSSD第３回準備会合（アメリカ　ニューヨーク）」に参加する。

３月25日～30日　「環境問題を考えるスタディツアー（中国、韓国）」を実施する。

4月1日　北九州市立女性センターの名称を北九州市立男女共同参画センターに変更する。

7月　国連経済社会理事会のNGO協議資格を九州で初めて取得する。

7月31日　国際協力事業団（JICA）国際協力功労者表彰を受賞する。

8月23日～9月5日　「持続可能な開発に関する世界首脳会議」（ヨハネスブルグ・サミット）に参加（フォーラムの主任研究員は日本政府代表の顧問を務めた）し、各国女性NGOとワークショップを開催する。

10月12日～14日　日本・中国・韓国・モンゴルからの女性環境活動家が集い、「第2回北東アジア女性環境会議（第13回アジア女性会議―北九州）」を北九州市と東京で開催する。

2003年3月2日～16日　第47回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ　ニューヨーク）に参加する。

3月16日～21日　第3回世界水フォーラム（京都、滋賀、大阪）に参加する。

5月　「国際協力カレッジ」から名称を変更した「KFAWカレッジ」を開催する。

5月17日　北九州市女性史の編纂を行うため北九州市女性史編纂実行委員会の設立に参画する。

10月11日　財団設立10周年記念事業を実施した。

12日　「第14回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性のエンパワーメントとICT）を開催する。

2004年2月26日～3月13日　第48回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ　ニューヨーク）に参加する。

6月29日～7月4日　「アジア太平洋NGOフォーラム」参加スタディツアー（タイ　バンコク）を実施する。

9月7日～10日　国連アジア太平洋経済社会委員会ハイレベル会議（タイ　バンコク）に参加する。

11月6日～7日　「第15回アジア女性会議―北九州」（テーマ：北京+10に向けて　人間の安性保障とジェンダー）を開催する。

2005年2月28日～3月6日　第49回国連女性の地位委員会（CSW）「北京＋10」閣僚級会合（アメリカ　ニューヨーク）に参加する。

11月5日～6日　「第16回アジア女性会議―北九州」（テーマ：歴史を拓いた女性たち）を開催する。

12月7日　『北九州市女性の100年史　おんなの軌跡　北九州』を発刊する。

2006年1月16日～23日　「インドで考える女性や子どもの人権スタディツアー」を実施する。

2月27日～3月10日　第50回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。

2月19日　「ノーベル平和賞受賞者　ワンガリ・マータイさんと語る　北九州市民・環境フォーラム　世界の環境首都をめざして」を開催（エコライフステージ実行委員会との共催）する。

4月1日　北九州市立男女共同参画センターの指定管理者となる。

9月28日　北九州ESD（持続可能な開発のための教育）協議会（44団体）が設立される。

10月　環境省「国連持続可能な開発のための教育の10年促進事業」の認定を受けた。

10月15日　『新聞にみる北九州市女性の100年史　おんなの軌跡・北九州』を発刊する。

11月11日～12日　北九州市女性史演劇「秋の三色すみれ」を上演する。

11月18日～19日　「第17回アジア女性会議―北九州」（テーマ：公正で豊かな未来を創る～持続可能な開発のための教育とは～）を開催する。

12月5日　国連大学から持続可能な開発のための教育を推進するため、北九州市が「地域の拠点（RCE）」に認定される（日本で4番目）。

2007年2月26日～3月9日　第51回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。

3月1日～8日　「アボリジニ女性のエンパワーメントとアートを活かしたまちづくりスタディツアー（オーストラリア）」を実施する。

4月1日　原ひろ子氏が顧問に、三隅佳子氏が第2代会長に、吉崎邦子氏が第5代理事長に、それぞれ就任する。
北九州ESD協議会の事務局となる。

10月12日～16日　持続可能な開発のための教育（ESD）をテーマにスタディーツアー（韓国）を実施する。

11月10日～11日　「第18回アジア女性会議―北九州」（テーマ：つながる ひろがる 地球の未来）を開催する。

12月14日　在福岡アメリカ領事館とミャンマー民主化講演会を共催する。

2008年2月22日～3月7日　第52回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。

3月10日～12日　海外拠点づくりの第一歩として姉妹都市の韓国・インチョン広域市を訪問する。

4月　KFAWアジア研究者ネットワーク立ち上げの準備をする。

5月26日　仁川YWCAの一行（11名）が来北する。

6月25日　韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPDI）主催の国際会議に参加・日本の現状を発表する。

9月6日　財団設立15周年記念講演会「アジア・太平洋地域の女性の現状」を実施する。

11月15日　CWPDIと日韓国際セミナーを共同で開催する。

11月15日～16日　「第19回アジア女性会議―北九州」（テーマ：地球を食べる、地球で食べる―あなたは食を通して何を考えますか？）を開催する。

2009年2月27日～3月6日　第53回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、KFAW主席研究員がサイドイベントで「東アジアにおけるケアネットワークの必要性」のテーマで意見発表を行う。

3月31日　北九州ESD協議会事務局が北九州市環境局に移管される。

4月1日　三隅佳子氏が顧問に就任する。

6月　ジェンダー関連研究者のネットワークのキックオフ（KFAWアジア研究者ネットワーク）。

8月6日　北九州YMCAとロシア・チェリャビンスク国立大学東洋学科学生一行（7名）との交流プログラムを実施する。

8月10日　在福岡アメリカ領事館と共催でサマーセミナー「ミッシェル・オバマ；アメリカを変革するファーストレディ」を開催する。

9月13日　第2回日韓国際セミナー「大地から食卓へ―ジェンダーの視点で食の安全を考える」を開催する。

9月29日　北九州市・大連市友好協定30周年記念チャーター便で、大連市婦女連合会一行がムーブ（KFAW）を訪問する。

10月26日　在日シンガポール大使館と共催で国際セミナー「シンガポールの女性はいま」を実施する。

11月２日　CWPDI と学術交流協定を締結する。

11月28日～29日　「第 20 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：現在（いま）、世界の女性たちは―北九州から世界を視（み）る―）を開催する。

2010年２月26日～３月７日　第 54 回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。

３月１日　第 54 回国連女性の地位委員会（CSW）パラレルイベントにて、韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPDI）と共同セミナー「女性のエンパワーメントに向けた取組みと課題～日本と韓国の経験から」を開催する。

６月１日　韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPDI）と共同で、2010 CWPDI 開院 11 周年韓日共同セミナー（第３回日韓共同セミナー）「韓日女性の地域における政治参加の拡大政策」を韓国で開催する。

７月30日　中国・大連市婦女連合会を訪問。今後の交流について協議する。

７月　大連市婦女連合会から「北九州市男女共同参画センター設立 15 周年」を祝すメッセージが届く。

10月　東アジア学会 20 周年記念大会にて、賛助会員として表彰される。

11月13日～14日　「第 21 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：世界の子育て―子ども・親・社会のカタチ―）を開催する。

2011年１月22日　北九州市立大学と共催で、国際シンポジウム「国際結婚と多文化共生」を開催する。

１月～２月　KFAW デート DV 予防教育ファシリテーター養成講座を開催する。（全４回）

２月26日～３月３日　第 55 回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、サイドイベント「日本において農林漁業に従事する女性たちのエンパワーメント」において、主席研究員がパネリストとして発表する。

４月１日　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ、北九州市立東部勤労婦人センター、北九州市立西部勤労婦人センターの指定管理者となる。

８月　市内高校、大学等の約 5,000 人を対象に、デート DV 予防教室講師派遣事業を実施する。（～ 2012 年３月）

８月31日　学術交流協定締結機関　韓国・忠清南道女性政策開発院（CWPDI）を訪問する。

９月１日　韓国・仁川発展研究院を訪問し、交流協力協定を締結する。

11月26日～27日　「第 22 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：災害と向き合う―東日本大震災から学ぶ）を開催する。

11月27日　KFAW 日韓共同研究報告会（第４回日韓セミナー）「子育て支援ネットワーク―日韓比較」を開催する。

12月　女子学生のためのキャリア形成プログラムの作成に着手する。

2012年２月26日～３月４日　第 56 回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、パラレルイベント「日本の農村女性のエンパワーメント―経済のグローバル化と東日本大震災の影響下で」を開催し、主席研究員他が報告する。

11月10日　「第 23 回アジア女性会議―北九州」（テーマ：力を合わせよう―女性、女児への暴力をなくすために）を開催する。

12月８日　第 23 回 KFAW 研究員報告会を開催する。

2013年２月２日　ワールドリポート（第５回日韓セミナー）「日韓米の多文化共生」を開催する。

３月２日～８日　第57回国連女性の地位委員会（CSW）に参加し、パラレルイベント「アジア女性交流・研究フォーラムのデートDV/DV防止に向けた取り組み」を開催する。

４月１日　**公益財団法人に移行**
第６代理事長に堀内光子氏が就任する。

８月10日　DV防止講演会／デートDV予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。

９月～10月　女子学生のためのキャリア形成プログラムを市内大学３校で試験的に実施する。

11月９日　財団設立20周年記念事業として、「第24回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性の活躍が日本、世界を変える）を開催する。

11月10日　財団設立20周年記念事業として、北九州市・仁川広域市女性団体文化交流会を開催する。

2014年２月２日　第24回KFAW研究員報告会を開催する。

２月23日～３月２日　KFAWスタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」を実施する。

４月11日　第58回国際女性の地位委員会（CSW）帰国報告会を開催する。

５月～12月　女子学生のためのキャリア形成プログラムを市内大学５校で実施する。

８月10日　DV防止講演会／デートDV予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。

10月20日～22日　仁川広域市を訪問し、ジェンダー関連組織・施設への訪問や女性団体主催セミナー及び交流会に参加する。

12月３日～５日　ニューヨーク国連本部経済社会局統計部に協力して、国連ジェンダー統計専門家会合を開催する。

12月６日　「第25回アジア女性会議―北九州」（テーマ：女性の働き方としての起業）を開催する。

2015年1月22日～25日　海外通信員を招へいして、ワールドリポート「いま、アジアの女性たちは～海外通信員を囲んでアジアを知ろう」を開催するとともに、市内の小学生と大学生を対象とした国際交流プログラムを実施する。

２月７日　第25回KFAW研究報告会を開催する。

２月23日～３月４日　KFAWスタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」を実施する。

刊行物一覧

(1) 出版物

アジア女性研究

アジア女性研究	創刊号	アジアにおける開発と女性	1,000 円（品切れ）
アジア女性研究	第 2 号	環境・開発・女性	1,000 円
アジア女性研究	第 3 号	A　地球の未来と人口問題 B　アジアの女性と人口問題	1,000 円
アジア女性研究	第 4 号	女性と家族	1,000 円
アジア女性研究	第 5 号	女性と労働	1,000 円
アジア女性研究	第 6 号	女性とメディア	1,000 円
アジア女性研究	第 7 号	女性と教育	1,000 円
アジア女性研究	第 8 号	ジェンダーの視点の主流化をめざして	1,000 円
アジア女性研究	第 9 号	男女共同参画の世紀を拓く	1,000 円
アジア女性研究	第 10 号	ジェンダー主流化に向けて	1,000 円（品切れ）
アジア女性研究	第 11 号	ジェンダーと健康	1,000 円（品切れ）
アジア女性研究	第 12 号	持続可能な開発―ジェンダーの視点から	1,000 円（品切れ）
アジア女性研究	第 13 号	ICT とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 14 号	人間の安全保障とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 15 号	グローバル化とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 16 号	ジェンダーと政治（ポリティクス）	1,000 円
アジア女性研究	第 17 号	福祉とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 18 号	科学とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 19 号		※
アジア女性研究	別冊	アジア女性学の動向	200 円
アジア女性研究	第 20 号		※
アジア女性研究	第 21 号		※
アジア女性研究	第 22 号		※
アジア女性研究	第 23 号		※
アジア女性研究	第 24 号		※

※配布、ホームページからダウンロード

KFAW 調査研究報告書

No.2010-1	インド、ケーララ州の女子教育とジェンダー平等―現状と課題―	※
No.2010-2	日本の犯罪報道における女性　全国紙・地方紙の場合	※
No.2010-3	外国籍女性とその子ども達の社会包摂 ―福岡県のフィリピン人およびタイ人女性の　多文化共生―	※
No.2011-1	Women's Empowerment through Collective Actions: The Case of Makthal Federation in Andhra Pradesh, India ［女性のエンパワーメントのための問題解決型アプローチ―インド、アンドラ・プラデシュ州、マクタール女性連盟を事例として―］	※
	Federations as Collective Actions of *Sanghams*: The Case of Makthal in Andhra Pradesh	
No.2012-1	ジェンダー主流化に向けたアクションとアウトカム ―JICA 集団研修「ジェンダー主流化」フォローアップ調査をもとに―	※
	Promoting Gender Mainstreaming around the World: Results of a Follow-up Survey on the JICA Training Course on Gender Mainstreaming	
No.2012-2	農村女性起業家の事業継続を支援するための調査・分析・ネットワーク開発に関する研究	※
No.2012-3	アジア地域における移行経済国から日本への女性の結婚移住 ―インドシナ難民家族と滞日中国人家族における移民女性の事例から―	※

No.2013-1	津波被災地の復興における女性の役割 —インドネシアのアチェ州と東北地方の比較を通して—	※
No.2013-2	現代台湾における子育てをめぐる言説の諸相とジェンダー	※
No.2014-1	夫婦間の性別役割分業はなぜ変わらないのか —既婚女性へのインタビュー調査から探る—	※
No.2014-2	グローバリゼーションに対する認識と英語力 —日本人女性と韓国人女性との比較—	※

※配布、ホームページからダウンロード

Journal of Asian Women's Studies

Journal of Asian Women's Studies Vol. 1	Women in Development in Asia	800 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 2	Environment, Development and Women	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 3	Population and Our Earth's Future Women's Reproductive Rights and Population Problems in Asia	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 4	Women and Family	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 5		1,000 円（品切れ）
Journal of Asian Women's Studies Vol. 6 & 7		1,500 円（品切れ）
Journal of Asian Women's Studies Vol. 8		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 9		1,000 円（品切れ）
Journal of Asian Women's Studies Vol. 10	Women / Gender and Globalization	1,000 円（品切れ）
Journal of Asian Women's Studies Vol. 11	Participation and Good Governance: Environmental Issues from a Gender Perspective	1,000 円（品切れ）
Journal of Asian Women's Studies Vol. 12	Cairo+10: Reviewing Reproductive Health and Rights	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 13	ICT and Gender	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 14		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 15		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 16		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 17	Welfare and Gender	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 18	E-journal	※
Journal of Asian Women's Studies Vol. 19	E-journal	※
Journal of Asian Women's Studies Vol. 20	E-journal	※
Journal of Asian Women's Studies Vol. 21	E-journal	※
Journal of Asian Women's Studies Vol. 22	E-journal	※

※ホームページからダウンロード

環境シリーズ

アジアにおける環境と女性—実践実例集—	500 円
地球温暖化対策の未来	500 円
ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイさんと語る 北九州市民・環境フォーラム　世界の環境首都をめざして　記録	300 円
「持続可能な開発のための教育」～(財)アジア女性交流・研究フォーラムの活動記録～	非売品

農業女性シリーズ

アジアの農業女性のエンパワーメント—韓国と中国からの報告—	1,000 円
Empowerment of Female Farmers in Asia—Korea and China—	1,500 円（品切れ）
Empowerment of Female Farmers in Asia—Vietnam and Thailand—	1,500 円

アジアのドメスティック・バイオレンスシリーズ

アジアのドメスティック・バイオレンス（ハードカバー）	2,500 円
アジアのドメスティック・バイオレンス（ペーパーバック）	2,000 円
Domestic Violence in Asia—A Report from Korea and Cambodia—	800 円

アジア家族研究シリーズ

日本と韓国の家族意識の比較研究—福岡・ソウル調査を中心に—	2,000 円
A Comparative Study on the Family Consciousness between Korea and Japan —Centered on Seoul and Fukuoka—	2,000 円
現代タイの家族意識の研究—バンコク・ソウル・福岡調査の比較と共に—	2,000 円
A Study of Family Consciousness in Contemporary Thailand —With Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka—	2,000 円
現代中国における都市家族の意識と生活に関する研究 —北京調査及びバンコク・ソウル・福岡との比較—	2,000 円
A Study on Life and Consciousness of Contemporary Urban Family in China —A Research in Beijing with Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka—	2,000 円（品切れ）
アジアの経済発展と家族及びジェンダー	1,000 円
The Influences of Economic Development upon Women and Families —Experiences in Seven Asian Countries—	2,000 円
マレーシアの経済開発と家族及びジェンダー—経済危機の前夜まで—	2,000 円
Effects of Socio-Economic Development on Family and Gender Relations Before Economic Crisis in Malaysia—Focusing on Kuala Lumpur—	2,000 円
アジアの経済発展と家族及びジェンダー—改訂版—	1,200 円

アジアの働く女性シリーズ

パキスタンの働く女性—綿摘み女性労働者と縫製業の女性労働者—	1,000 円
ベトナムの働く女性—ホーチミン市縫製工場の女性移住労働者—	1,000 円
フィリピンミンダナオ北部における経済開発と女性 —開発における社会・経済ジェンダー分析（SEGA）モデルの検証—	1,000 円

客員研究員研究

マレーシアとシンガポールにおける女性と政治 —ナショナリズム・国家建設・ジェンダー—	1,000 円
中国における社会福祉政策の展開状況に関する研究	1,000 円
Globalization の新潮流と「環境保全型経済発展の課題」 —東南アジア諸国における「中間階層」の増大との関連で—	1,000 円（品切れ）
上海市女性高齢者生活状況に関する訪問調査	1,000 円
アウンサンスーチーの思想と行動	1,000 円
アウンサンスーチーの思想と行動（ビルマ語付）	1,500 円（品切れ）
グローバリゼーションの新潮流と環境保全型経済発展の課題 —東南アジア諸国の事例で—	1,000 円
ミャンマーにおける女性の地位	1,000 円
インドにおける生涯にわたる健康とジェンダー	1,000 円
インドの経済開発と再生可能エネルギー利用—女性の社会的役割の増大する中で—	1,000 円
女性労働者の非正規化に関する日韓比較 —労働市場と女性政策、職場のジェンダー構造化の分析—	非売品
「法」・「貧困」・「ジェンダー」：法多元主義と正義へのアクセス	非売品

フィリピンとミャンマーにおける、若者および女性を対象としたHIV／AIDS対策に関する調査研究	非売品
「権利をよりどころにするアプローチ」の展開とアジアの女性のエンパワーメント	※
大連市に進出の日本企業における現地採用女性従業員の労働実態と企業の社会的責任	※
表現アートセラピーを応用したリサーチ手法の可能性 —人身売買被害者の「＜ほんもの＞の語り」—	※
東北アジアにおけるジェンダー予算の動向—日本、韓国、台湾を事例として	※
中央アジア諸国におけるコミュニティ研究—ジェンダーの視点から— （ウズベキスタン、タジキスタン、カザフスタン、キルギスの事例より）	※
自治体の入札・契約におけるポジティブ・アクション評価による男女共同参画推進に関する比較研究	※
東南アジアから東アジアへの国際移動と再生産労働の変容 —韓国・台湾・日本の比較研究—	※
内戦・津波災害下のこどもの健康 —スリランカ、トリンコマレ県の実態調査に見る性差—	※

※ホームページからダウンロード

起業家シリーズ

私の起業体験—きたきゅうしゅう・ふくおかの女性起業家たち—	1,000円
アジアの女性起業家	1,000円
Women Entrepreneurs in Selected Asian Countries	1,000円

アジア女性シリーズ

No. 1「中国の女性」	1,000円
No. 2「スリランカの女性」	1,000円
No. 3「インドネシアの女性」	1,000円
No. 4「韓国の女性」	1,000円
No. 5「フィリピンの女性」	1,000円
No. 6「バングラデシュの女性」	1,000円
No. 7「ベトナムの女性」	1,000円
No. 8「タイの女性」	1,000円
No. 9「中国の女性（改訂版）」	1,000円
No. 10「シンガポールの女性」	1,000円
No. 11「マレーシアの女性」	1,000円
No. 12「インドの女性」	1,000円

海外通信員レポート集

Vol. 1 (1991-1992)	500円
Vol. 2 (1992-1993)「家族教育と女性」	800円
Vol. 3 (1993-1994)「教育と女性」	800円
Vol. 4 (1994-1995)「女性と家族」	800円
Vol. 5 (1995-1996)「女性と労働」	800円
Vol. 6 (1996-1997)「女性とエンパワーメント」	800円
Vol. 7 (1997-1998)「女性とエンパワーメント」	800円
Vol. 8 (1998-1999)「女性と起業家」	800円
Vol. 9 (1999-2000)「高齢者と子ども」	800円
Vol. 10 (2000-2001)「環境と女性」	800円
Vol. 11 (2001-2002)「健康と女性」	非売品

中間階層の研究シリーズ

現代フィリピンにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代タイにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代インドネシアにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代マレーシアにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代シンガポールにおける「中間階層」の研究	1,000 円
東南アジアにおける「中間階層」の研究	1,000 円

その他

Princess Sunflower	1,500 円
おんなの軌跡北九州―北九州市女性の 100 年史―	3,000 円

(2) ビデオ

国際理解のための教材ビデオ（解説書つき）　ライブラリー価格 10,000 円

	通常価格
中国の子どもたち／スリランカのサボミちゃん	3,000 円（品切れ）
素顔の韓国／ほほ笑みの国・タイ	3,000 円（品切れ）
インドネシアの子どもたち／共に生きるアジアの隣人	3,000 円（品切れ）
陽気なフィリピンの子どもたち／手と手を結ぼう	3,000 円
こんにちはマレーシアの子どもたち／マレーシアってどんな国？	3,000 円
多文化社会の子どもたち／オーストラリアってどんな国？	3,500 円
シンチャオ こんにちはベトナム／ベトナムの子どもたち ―いちばん大切なものはなに？―	3,500 円

※全て税込価格です。
　出版物、ビデオを郵送する場合、送料が別途かかります。

海外とのネットワーク

109 カ国　3 地域　延べ 1,142 人（2015 年 3 月末まで）

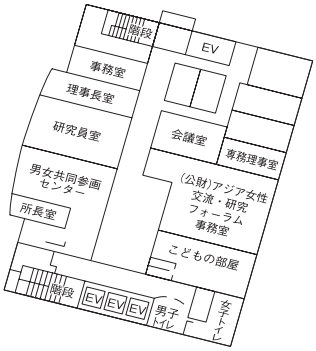
合計	1,142
国（109）	1,126
地域（3）	16

アジア　21 カ国		778
1	インド	55
2	インドネシア共和国	54
3	カンボジア王国	26
4	シンガポール共和国	31
5	スリランカ民主社会主義共和国	34
6	タイ王国	66
7	大韓民国	100
8	中華人民共和国	85
	（うち香港特別行政区）	7
9	ネパール連邦民主共和国	53
10	パキスタン・イスラム共和国	34
11	バングラデシュ人民共和国	45
12	東ティモール民主共和国	1
13	フィリピン共和国	89
14	ブータン王国	2
15	ブルネイ・ダルサラーム国	2
16	ベトナム社会主義共和国	31
17	マレーシア	34
18	ミャンマー連邦共和国	9
19	モルディブ共和国	7
20	モンゴル国	13
21	ラオス人民民主共和国	7
北米　2 カ国		84
1	アメリカ合衆国	80
2	カナダ	4
中南米　15 カ国		50
1	ウルグアイ東方共和国	6
2	コスタリカ共和国	2
3	コロンビア共和国	1
4	ジャマイカ	1
5	スリナム共和国	3
6	セントルシア	1
7	チリ共和国	4
8	ニカラグア共和国	1
9	ハイチ共和国	2
10	パナマ共和国	3
11	パラグアイ共和国	1
12	ブラジル連邦共和国	12
13	ペルー共和国	6
14	ホンジュラス共和国	1
15	メキシコ合衆国	6
欧州（NIS 諸国を含む）　22 カ国		51
1	アルバニア共和国	3
2	英国（グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国）	8
3	イタリア共和国	2
4	ウズベキスタン共和国	2
5	オランダ王国	4
6	キプロス共和国	1
7	キルギス共和国	2
8	クロアチア共和国	1
9	コソボ共和国	4
10	タジキスタン共和国	2
11	チェコ共和国	1
12	デンマーク王国	1
13	ドイツ連邦共和国	2
14	ノルウェー王国	2
15	フィンランド共和国	3
16	ボスニア・ヘルツェゴビナ	5
17	ポルトガル共和国	1
18	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	1
19	モルドバ共和国	1
20	ロシア連邦	2
21	ジョージア	2
22	スイス連邦	1
大洋州　9 カ国		51
1	オーストラリア連邦	18
2	キリバス共和国	1
3	サモア独立国	2
4	ソロモン諸島	3
5	パプアニューギニア独立国	13
6	パラオ共和国	1
7	バヌアツ共和国	2
8	フィジー諸島共和国	10
9	ミクロネシア連邦	1
中東　8 カ国		28
1	アフガニスタン・イスラム共和国	7
2	イエメン共和国	2
3	イスラエル国	1
4	イラク共和国	1
5	イラン・イスラム共和国	3
6	シリア・アラブ共和国	1
7	トルコ共和国	5
8	ヨルダン・ハシェミット王国	8
アフリカ　32 カ国		84
1	アルジェリア民主人民共和国	1
2	ウガンダ共和国	6
3	エジプト・アラブ共和国	1
4	エリトリア国	1
5	ガーナ共和国	7
6	ガボン共和国	1
7	カメルーン共和国	2
8	ケニア共和国	10
9	コートジボワール共和国	4
10	コンゴ共和国	1
11	コンゴ民主共和国（旧ザイール）	2
12	サントメ・プリンシペ民主共和国	1
13	ザンビア共和国	3
14	ジンバブエ共和国	2
15	スワジランド王国	3
16	赤道ギニア共和国	1
17	セネガル共和国	1
18	タンザニア連合共和国	4
19	チャド共和国	2
20	中央アフリカ共和国	1
21	ナイジェリア連邦共和国	8
22	ニジェール共和国	4
23	ブルキナファソ	2
24	ブルンジ共和国	1
25	ベナン共和国	1
26	ボツワナ共和国	1
27	マダガスカル共和国	1
28	マラウイ共和国	5
29	マリ共和国	2
30	南アフリカ共和国	3
31	モーリシャス共和国	1
32	モーリタニア・イスラム共和国	1
地域　3 地域		16
1	イギリス領ヴァージン諸島	1
2	台湾	12
3	パレスチナ（PLO）	3

施設案内

北九州市大手町ビルは地上10階、地下2階建てで、平成7年7月に開館しました。
1階から5階までが北九州市立男女共同参画センター・ムーブで、公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムは3階に入居しています。

3階　FLOOR GUIDE



主　な　施　設

9・10F	北九州市立大手町練習場	
8F	北九州市人権推進センター	
6・7F	(公財)アジア成長研究所	
5F		北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
4F		北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
3F	**(公財)アジア女性交流・研究フォーラム**	北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
2F		北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
1F		北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
B1・2F	地下駐車場（有料・100台収容）	

アクセス

①JR西小倉駅より
1）徒歩約15分
2）西鉄バス
・西小倉駅前　ソレイユホール・ムーブ前下車
27、45、76、79、110、134、138、150、170、175、197、13-1

②JR小倉駅より
1）西鉄バス
・小倉駅バスセンター　ソレイユホール・ムーブ前下車
27、45、110、134、138、13-1
・小倉駅入口　ソレイユホール・ムーブ前下車
71、76、79、150、170、175、197

③北九州都市高速道路　勝山ランプ/大手町ランプより約3分

指定管理施設の案内

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

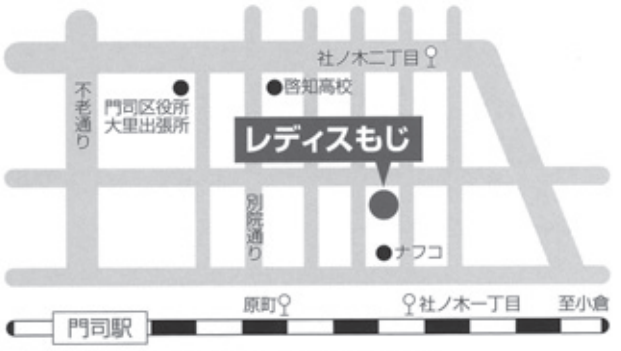
北九州市立
男女共同参画センター
ムーブ

〒803-0814
北九州市小倉北区大手町11番4号

TEL(093)583-3939
FAX(093)583-5107

ホームページアドレス
http://www.kitakyu-move.jp
E-mail:move@move-kitakyu.jp

北九州市立東部勤労婦人センター レディスもじ



■交通機関／J R…門司駅から車で5分
西鉄バス…社ノ木一丁目・二丁目から徒歩3分

レディスもじ

〒800-0051　北九州市門司区下馬寄6番8号
TEL (093) 371-4649（みないっしょ よろしく）
FAX (093) 371-4268

URL：http://kinroufujin-kitakyu.jp/moji
E-mail：moji@kinroufujin-kitakyu.jp

北九州市立西部勤労婦人センター レディスやはた

■交通機関／J R…八幡駅から徒歩で10分
西鉄バス…
西本町、八幡駅前、市立八幡病院、国際村交流センターから徒歩3～5分

レディスやはた

〒806-0059　北九州市八幡東区尾倉二丁目6-6
TEL (093) 661-1122
FAX (093) 661-2714

URL：http://kinroufujin-kitakyu.jp/yahata
E-mail：yahata@kinroufujin-kitakyu.jp

（公財）アジア女性交流・研究フォーラム
平成 26（2014）年度 年報

発　　行　（公財）アジア女性交流・研究フォーラム
〒 803-0814　北九州市小倉北区大手町 11-4
TEL（093）583-3434
FAX（093）583-5195
URL http://www.kfaw.or.jp
発　行　月　平成 27 年 8 月

公益財団法人
アジア女性交流・研究フォーラム
KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 北九州市大手町ビル3階
電話　093−583−3434　FAX　093−583−5195
E-mail: kfaw@kfaw.or.jp　ホームページ http://www.kfaw.or.jp